

消防年報

令和3年度版



富里市消防本部

は し が き

この年報は、令和4年4月1日現在における富里消防の現況と諸資料を収録し、今後の消防行政の参考とするとともに、合理的な運営と消防力の充実を目的に編集しました。

諸表については、令和3年度中の資料を主として過去5年間から10年間を比較対照し、統計は原則として会計年度、火災及び救急に関するものは暦年としました。

令和4年7月

富里市消防本部



市 民 憲 章

北総台地の自然の中で、健康で豊かな生活と香り高い文化を育て、人と人とのふれ合いを大切にし、心のかようまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

1. 豊かな大地を愛し

歴史と伝統を誇るまちをつくりましょう

1. 人と平和を愛し

世界にひらくまちをつくりましょう

1. 花と緑を愛し

心身ともに健康なまちをつくりましょう

1. 若い力を育て勤労を愛し

活力あるまちをつくりましょう

1. 郷土と文化を愛し

調和のあるまちをつくりましょう

目 次

総 務

1	富里市の位置・地勢・特色	1
2	富里市の人口推移	2
3	富里市消防のあゆみ	3
4	消防の組織	8
5	消防本部事務分掌	9
6	消防署事務分掌	11
7	年度別一般会計当初予算及び消防費の比率	13
8	年度別消防費予算額内訳	13
9	消防費節別構成比	13
10	消防庁舎の現況	13
11	職員配置	14
12	職員階級別勤続年数	14
13	年度別職員数	15
14	年度別再任用職員配置状況	15
15	職員年齢別階級	16
16	年度別職員研修状況	17
17	職員資格取得状況	18

警 防

1	年別救急出動件数	19
2	救急出動件数及び搬送人員の推移	19
3	年別搬送人員	20
4	年別搬送人員の傷病程度	20
5	月別出動件数、搬送人員の推移	21
6	傷病程度別搬送状況	21
7	事故種別・傷病程度別救急搬送人員	22
8	曜日別救急出動件数	23
9	時間別救急出動件数	23
10	応援・受援の状況	23
11	年別ドクターヘリ出動状況	24
12	ドクターヘリ離着陸場	24
13	ドクターヘリ出動要請の基準	24
14	応急手当の普及状況	25
15	災害出動状況	26
16	年別救助出動及び活動状況	27
17	消防本部・署車両ポンプ一覧	28
18	消防水利の状況	28
19	応援協定及び業務協定	29

予 防

1	年別火災状況	33
2	火災件数、損害額、焼損面積の推移	34
3	年別地区別火災発生状況	35
4	年別出火原因別発生件数の推移	36
5	年別季節別火災件数	37
6	曜日別出火状況	38
7	時間帯別出火状況	38
8	業態別防火対象物の総数	39
9	年度別予防関係届出件数	40
10	年度別建築同意件数	40
11	用途別消防用設備等設置状況	41
12	年度別危険物施設許認可受理件数	42
13	年度別危険物施設数	42

通 信

1	通信指令系統図	43
2	ちば消防共同指令センターの概要	44
3	災害等通報件数	45
4	無線配置表	46
5	月別気象状況	47
6	気象情報発令状況	48
7	月別平均風速	48
8	月別平均気温	49
9	月別平均湿度	49
10	年別月別降水量	50
11	月別降水量	50
12	降水量日計表	51

消防団

1	消防団管轄区域及び階級別実数	52
2	消防団員数の推移	52
3	消防団員年齢別階級	53
4	消防団詰所及び機庫の状況	54
5	消防団車両ポンプ一覧表	55
6	消防団員在職年数、新任状況、退職状況、職種別状況	56
7	報酬、費用弁償	56
8	消防団車両等配備状況	56

総務



■富里市の位置・地勢・特色

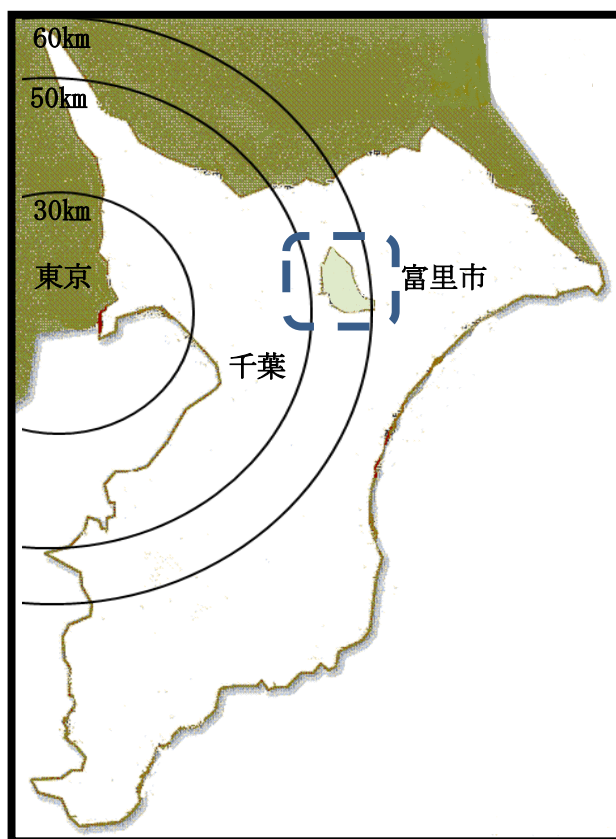
富里市は、千葉県北部の北総台地の中央部に位置し、東西約10km、南北約11km、面積53.88平方kmを有する市です。東京都心から東に50～60km圏、成田空港からは西に4kmほどのところに位置しています。東は芝山町、西は酒々井町、南は八街市、山武市、北は成田市と接していて、北総台地の高台地帯である本市は、高崎川、根木名川の源をなし、肥沃な農地や自然環境に恵まれた市です。

また、首都近郊の食料供給基地として農業が盛んで、なかでも「すいか」は全国でも有数の産地で市を代表する作物です。このことから、毎年6月に「スイカロードレース大会」が開催され、全国からたくさんの市民ランナーが集まります。



富里市公式マスコットキャラクター

「とみちゃん」

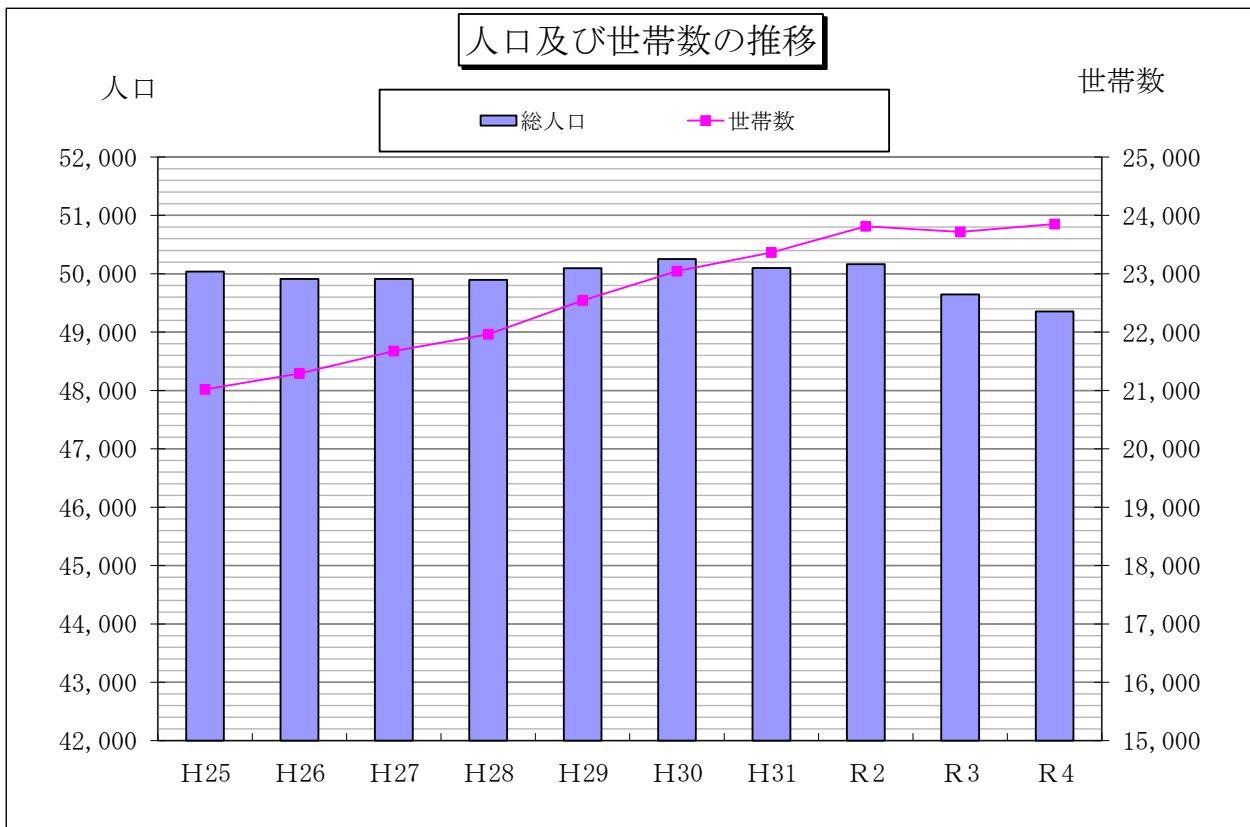


■富里市の人口推移

(各年3月31日現在)

年別	区分	面積	住民基本台帳人口		総人口	世帯数
			男	女		
平成25年		53.91 k m ²	25,409	24,629	50,038	21,019
平成26年		53.91 k m ²	25,338	24,571	49,909	21,291
平成27年		53.88 k m ²	25,444	24,466	49,910	21,674
平成28年		53.88 k m ²	25,457	24,440	49,897	21,962
平成29年		53.88 k m ²	25,555	24,539	50,094	22,542
平成30年		53.88 k m ²	25,670	24,582	50,252	23,044
平成31年		53.88 k m ²	25,579	24,518	50,097	23,365
令和2年		53.88 k m ²	25,630	24,533	50,163	23,812
令和3年		53.88 k m ²	25,330	24,315	49,645	23,716
令和4年		53.88 k m ²	25,131	24,221	49,352	23,853

※住基法改正により、平成25年から外国人登録者を住民基本台帳に含めた数値です。



■富里市消防のあゆみ

明治	40.	4.	1	勅令第15号、消防組設置規則公布施行により七栄に消防組を設置。 初代組頭に池田 勘十郎氏就任。
	42.	4.	1	根木名に消防組第2部設置。
大正	元.	10.	1	実ノ口に消防組第3部設置。
	3.	4.	1	立沢に消防組第4部設置。 第2代組頭に小高 国治郎就任。
	5.	4.	1	第3代組頭に飯沼 要氏就任。
	7.	4.	1	第4代組頭に相川 仙之助氏就任。
	9.	4.	1	第5代組頭に板倉 勇治氏就任。
	10.	4.	1	両国に消防組第5部設置。
	14.	2.	11	千葉県知事より優良金馬簾一条を授与される。
	15.	4.	1	第6代組頭に越川 進氏就任。
昭和	2.	4.	1	久能に消防組第6部設置。
	5.	2.	11	千葉県知事より優良金馬簾二条を授与される。
	6.	4.	1	第7代組頭に中村 安太郎氏就任。
	12.	2.	11	千葉県知事より優良金馬簾三条を授与される。
	14.	4.	1	勅令第20号、警防団令公布施行により富里村警防団と改称、15ヶ分団を設置。初代警防団長に内田 勝一郎氏就任。
	20.	4.	1	第2代警防団長に小高 政雄氏就任。
	22.	5.	1	勅令第185号、消防団令公布施行。
	8.	1	1	富里村条例第19号を似て富里村消防団設置。定数500名、団長1、副団長2、分団長15、部長45、班長90、団員347とする。初代消防団長に宮本 茂助氏就任。
	26.	1.	12	武州に第16分団設置。
	3.	7		千葉県知事より優良竿頭綬を授与される。
	30.	3.	10	千葉県消防協会より表彰旗を授与される。
	12.	17		宮内に第17分団設置。
	31.	3.	10	日本消防協会より優良竿頭綬を授与される。
	12.	7		葉山に第18分団設置。
	36.	3.	10	千葉県知事より功労表彰旗を授与される。
	38.	4.	1	第2代消防団長に佐久間 輝夫氏就任。
40.	8.	1	大和台に第19分団設置。	
41.	4.	1	成田市と救急業務に関する協定を締結する。	
42.	4.	1	第3代消防団長に小沢 操氏就任。	
12.	30		消防団員定数665名とする。	
44.	11.	1	役場消防協力隊設置、隊員18名、小型動力ポンプ及び積載車を配置する。	

■富里市消防のあゆみ

46. 3. 10 日本消防協会より表彰旗を授与される。
4. 1 第4代消防団長に鈴木 長一氏就任。
10. 15 東関東自動車道及び新空港自動車道消防相互応援協定を締結する。
49. 8. 30 役場消防協力隊に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型）を配置する。
53. 3. 10 千葉県知事より優秀表彰旗を授与される。
3. 18 新東京国際空港消防相互応援協定を締結する。
54. 2. 1 消防本部発足準備のため職員4名を採用する。
3. 12 消防団本部用連絡車購入。
3. 20 消防本部・署設置条例を制定。
4. 1 消防本部・署発足準備のため職員18名を採用する。
4. 2 自治省告示第79号により消防本部及び消防署を置かなければならない町村の指定をうける。
5. 15 消防本部用指揮車購入。
7. 2 救急車（2B型）を購入し、消防本部・署発足準備室に配置する。
8. 10 初代消防長に塩野谷 徳次郎氏就任。
9. 1 役場消防協力隊解散。
10. 1 富里村消防本部・消防署開設。
位置 千葉県印旛郡富里村七栄652番地の1
組織 消防長1名、次長（署長兼務）1名を置き、消防本部に庶務係、予防係、警防係、消防署に消防隊、救急隊、通信を置く。
施設 水槽付消防ポンプ自動車1台、積載車1台、救急車1台、指揮車1台、連絡車1台。
職員 総員25名、消防司令長1名、消防司令1名、消防司令補2名、消防士長2名、消防副士長5名、消防士14名。
55. 2. 21 日本損害保険協会より救急車（2B型）1台を寄贈され、消防署に配置する。
3. 1 成田市と消防業務に関する協定を締結する。
4. 1 消防団員定数482名とする。
56. 4. 1 消防団員定数458名とする。
11. 24 新東京国際空港公団より化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）が寄贈され消防署に配置する。
57. 4. 2 消防本部に消防長車（乗用車）を配置する。
10. 19 消防署に消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型）を配置する。
58. 4. 1 消防団員定数430名とする。
第5代消防団長に越川 光隆氏就任。
11. 1 第2代消防長に相川 良治氏就任。
59. 3. 30 消防署に小型動力ポンプ積載車を配置する。（更新）

■富里市消防のあゆみ

5. 26 新消防庁舎建設工事開始する。
60. 3. 18 新消防庁舎を千葉県印旛郡富里村七栄735番地の2に新築（鉄筋コンクリート3階建一部鉄骨平屋建）し、移転する。
4. 1 町制施行に伴い、名称を富里町消防本部、富里町消防署、富里町消防団に改める。
6. 1 機構改革を実施し、消防本部に消防課を置く。
11. 30 消防本部に査察車を配置する。
61. 12. 26 消防署に救急車（2B型）を配置する。（更新）
12. 27 消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を配置する。（更新）
62. 3. 25 消防庁舎敷地内に訓練塔を新築する。
4. 1 消防署に救助隊を置く。
10. 5 消防本部に事務車（ライトバン）を配置する。
12. 21 消防署に救急車（2B型）を配置する。（更新）
63. 2. 15 消防署に梯子車（30m級）を配置する。
12. 15 富里町日吉倉1096番地の2に分署用地を確保する。
-
- 平成 元. 3. 23 消防署に指揮車を配置する。（更新）
3. 31 第3代消防長に飯倉 進氏就任。
7. 21 消防本部に連絡車（ライトバン）を配置する。（更新）
2. 11. 9 消防本部に消防長車（乗用車）を配置する。（更新）
3. 4. 1 第4代消防長に鈴木 重光氏就任。
第6代消防団長に石川 孝一氏就任。
4. 1. 18 消防署に救助工作車を配置する。
1. 19 救急消毒室を設置する。
5. 3. 26 消防署に救急車（2B型）を配置する。（北部出張所用）
4. 1 消防本部の消防課を、総務課、予防課の2課とする。
消防署の勤務形態を、2部制から3部制にする。
消防署北部出張所を開設する。
位置 千葉県印旛郡富里町日吉倉1096番地の2
施設 救急車1台
職員 総員9名
7. 30 消防本部に事務車（乗用車）を配置する。
6. 4. 1 第5代消防長に増田 功氏就任。
5. 18 富里ロータリークラブより軽自動車が寄贈され連絡車として、北部出張所に配置する。
7. 3. 3 自治省消防庁長官より消防本部、消防団に「竿頭綬」が授与される。
3. 6 消防署に救急車（2B型）を配置する。（更新）
9. 2. 18 北部出張所に署配置の消防ポンプ車（CD-II型）を配置換えする。

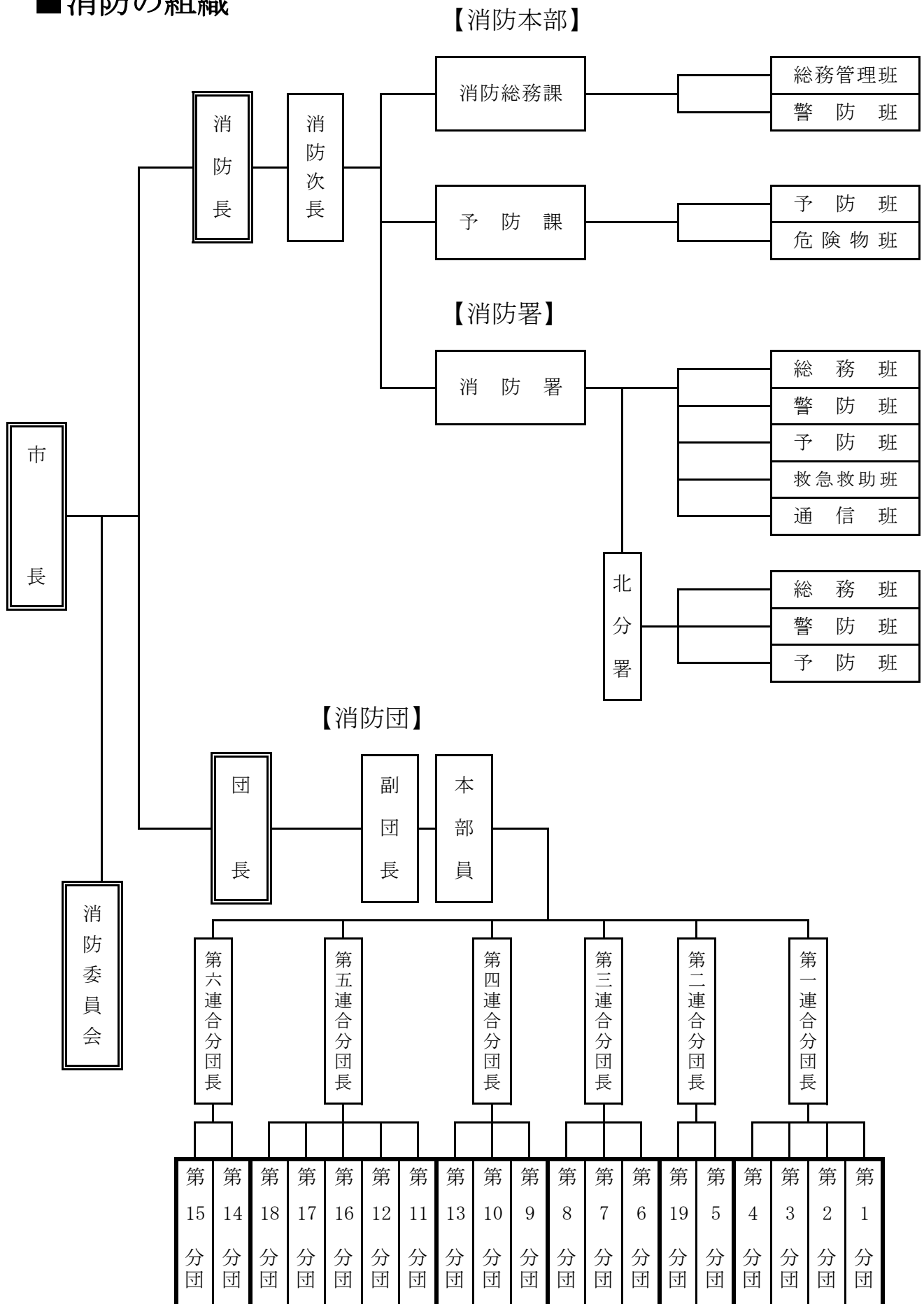
■富里市消防のあゆみ

10. 1 北部出張所に消防隊を置き、総員を18名とする。
10. 6. 23 仮称消防署北分署の建設工事を開始する。
11. 3. 24 仮称消防署北分署（鉄筋コンクリート2階建一部鉄骨平屋建）の建設工事が完成する。
4. 1 消防署北部出張所を消防署北分署に改称する。
位置 千葉県印旛郡富里町日吉倉1096番地の2
施設 消防ポンプ車1台、救急車1台、連絡車1台
職員 総員21名
第7代消防団長に遠藤 勝巳氏就任。
6. 1 成田市・富里町消防相互応援協定を締結する。
12. 1. 20 消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配置する。（更新）
4. 1 第6代消防長に五木田 壬一氏就任。
10. 5 緊急消防援助隊に消火部隊を登録する。
11. 17 消防署北分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型）を配置する。
13. 2. 9 消防署に高規格救急車を配置する。（2B型の更新）
5. 21 緊急消防援助隊隊旗を受領する。
14. 2. 25 消防署北分署に消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を配置する。
3. 31 消防本部に事務車（乗用車）を配置する。（更新）
4. 1 市制施行に伴い、名称を富里市消防本部、富里市消防署、富里市消防団に改める。
5. 28 消防本部に事務車（ライトバン）を配置する。（更新）
15. 4. 1 第7代消防長に池田 明氏就任。
15. 4. 1 第8代消防団長に野口 文夫氏就任。
16. 2. 27 消防署北分署に高規格救急車を配置する。（2B型の更新）
17. 4. 1 第8代消防長に鈴木 康之氏就任。
7. 29 第41回千葉県消防操法大会に富里市消防団第5分団が出場する。
19. 3. 20 高機能消防指令センター運用開始。
20. 4. 1 第9代消防長に藤崎 操氏就任。
4. 1 緊急消防援助隊に救急部隊を登録する。
7. 26 第44回千葉県消防操法大会に富里市消防団第5分団が出場する。
21. 2. 26 消防署に高規格救急車を配置する。（2B型の更新）
3. 6 総務省消防庁長官より消防本部、消防団に「表彰旗」が授与される。
7. 25 第45回千葉県消防操法大会に富里市消防団第8分団、第17分団が出場する。
22. 1. 16 ハイチ大地震に際し国際緊急援助隊医療チームの一員として被害地に
～ 1. 19 救急救命士1名を派遣し支援活動を展開する。
2. 26 消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ-A型）を配置する。（更新）

■富里市消防のあゆみ

23. 3. 28 東日本大震災に際し緊急消防援助隊千葉県隊として福島県福島市に救
 ～ 4. 5 急隊及び後方支援隊述べ2隊10名を派遣し支援活動を展開する。
 4. 1 第10代消防長に森田 武臣氏就任。
 11. 4 消防署に救助工作車を配備する。(更新)
24. 2. 14 消防署に資機材搬送車(トラック)を配備する。(新規)
 10. 24 消防署に高規格救急車を配置する。(更新)
25. 4. 1 第11代消防長に大木 隆義氏就任。
 4. 1 ちば消防共同指令センター運用開始
 4. 1 消防救急デジタル無線運用開始
25. 7. 25 消防本部に公用車を配備する。(更新)
 11. 20 フィリピン台風被害に際し国際緊急援助隊医療チームの一員として
 ～ 12. 3 被害地に救急救命士1名を派遣し支援活動を展開する。
26. 2. 18 消防署に指揮車を配備する。(更新)
27. 1. 23 消防署に高規格救急車を配置する。(更新)
 4. 1 第12代消防長に伊藤 正則氏就任。
 4. 1 第9代消防団長に篠塚 清春氏就任。
 7. 25 第51回千葉県消防操法大会に富里市消防団第5分団、第11分団が出場
 する。
28. 4. 1 第13代消防長に鈴木 勝氏就任。
29. 4. 1 第14代消防長に青柳 隆永氏就任。
 7. 22 第53回千葉県消防操法大会に富里市消防団第14分団が出場する。
30. 2. 23 消防署に高規格救急車を配置する。(更新)
 4. 1 第15代消防長に伊藤 裕之氏就任。
31. 4. 1 第10代消防団長に秋葉 政則氏就任。
-
- 令和 2. 12. 17 女性専用施設整備工事が完了し、女性消防吏員を含めた当直勤務体制
 を初めて構築する。
 3. 4. 1 第16代消防長に榊原 孝氏就任。
 10. 18 老朽化した訓練塔副塔の改築工事を開始する。
 4. 3. 28 訓練塔副塔改築工事が完了する。

■ 消防の組織



■ 消防本部事務分掌

消防総務課	
総務管理班	1. 人事及び組織に関すること。
	2. 条例、規則等に関すること。
	3. 消防委員会に関すること。
	4. 公印の保管に関すること。
	5. 文書の收受及び発送に関すること。
	6. 職員の福利厚生に関すること。
	7. 儀式及び表彰に関すること。
	8. 消防年報及び広報に関すること。
	9. 公務災害補償に関すること。
	10. 消防長会に関すること。
	11. 職員の研修に関すること。
	12. 消防職員委員会に関すること。
	13. 予算及び決算に関すること。
	14. 財産の維持管理に関すること。
	15. 国又は県の補助金に関すること。
	16. 物品の出納及び保管に関すること。
	17. 被服等の貸与に関すること。
	18. 寄附の受け入れに関すること。
	19. 衛生管理に関すること。
	20. 労働安全管理に関すること。
	21. その他庶務、財務に関すること。
警防班	1. 災害対策に関すること。
	2. 消防計画に関すること。
	3. 開発行為に係る消防指導に関すること。
	4. 水火災の警戒及び鎮圧に関すること。
	5. 消防水利に関すること。
	6. 救急救助統計に関すること。
	7. 消防の各種協定に関すること。
	8. 車両の管理及び安全運転管理に関すること。
	9. 消防訓練及び指導に関すること。
	10. 消防団の連絡調整に関すること。
	11. 消防団の運営に関すること。
	12. 消防団員の教養訓練に関すること。
	13. 消防協会に関すること。
	14. 自動体外式除細動器の貸出しに関すること。
	15. その他警防に関すること。

予防課

予防班

1. 火災調査に関すること。
2. 火災統計に関すること。
3. 火災証明に関すること。
4. 水火災の予防に関すること。
5. 建築物の同意及び指導に関すること。
6. 少年婦人防火クラブに関すること。
7. 防火管理に関すること。
8. 防火対象物検査及び査察に関すること。
9. その他火災予防に関すること。

危険物班

1. 危険物の規制に関すること。
2. 危険物施設の査察に関すること。
3. 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
4. 液化石油ガス等の貯蔵又は取扱いに関すること。
5. 危険物安全協会に関すること。
6. 石油パイプラインに関すること。

■ 消防署事務分掌

消防署	
総務班	1. 署内の物品管理に関する事。
	2. 署員の研修に関する事。
	3. 文書管理に関する事。
	4. 福利厚生に関する事。
	5. その他他の班に属さない事項に関する事。
警防班	1. 防火対象物の警防調査に関する事。
	2. 警防計画の立案、訓練及び演習に関する事。
	3. 地理及び水利調査に関する事。
	4. 消防操法の訓練及び指導に関する事。
	5. 消防機械器具及び装備の点検整備に関する事。
	6. 消防車両等の運転技術の教育訓練に関する事。
予防班	1. 防火対象物の予防査察に関する事。
	2. 火災原因及び損害の調査に関する事。
	3. 防火指導及び防火訓練に関する事。
	4. 予防広報に関する事。
	5. 富里市火災予防条例（昭和36年富里市条例第20号）に基づく届出の受理及び処理に関する事。
	6. 富里市火災予防条例（昭和36年富里市条例第20号）に基づく届出の受理及び処理に関する事。
救急救助班	1. 救急救命に関する事（分署を統括する。）
	2. 救急隊員の安全管理及び感染防止に関する事。
	3. 救急技術の研究及び訓練に関する事。
	4. 救急資機材の維持管理に関する事。
	5. 救急、救助業務の統計に関する事。
	6. 救助に関する事。
	7. 救助資機材の維持管理に関する事。
	8. 救助技術の研究及び訓練に関する事。
通信班	1. 消防通信の運用に関する事。
	2. 災害状況の速報及び関係機関との連絡に関する事。
	3. 災害関係の情報収集及び管理に関する事。
	4. 消防通信の技術指導に関する事。
	5. 気象観測及び気象情報の収集に関する事。
	6. 通信機械の維持管理等に関する事。

北分署

総務班	1. 署内の物品管理に関すること。
	2. 署員の研修に関すること。
	3. 文書管理に関すること。
	4. 福利厚生に関すること。
	5. その他他の班に属さない事項に関すること。
警防班	1. 防火対象物の警防調査に関すること。
	2. 警防計画の立案、訓練及び演習に関すること。
	3. 地理及び水利調査に関すること。
	4. 消防操法の訓練及び指導に関すること。
	5. 消防機械器具及び装備の点検整備に関すること。
	6. 消防車両等の運転技術の教育訓練に関すること。
	7. 救急隊員の安全管理及び感染防止に関すること。
	8. 救急技術の研究及び訓練に関すること。
	9. 救急資機材の維持管理に関すること。
予防班	1. 防火対象物の予防査察に関すること。
	2. 火災原因及び損害の調査に関すること。
	3. 防火指導及び防火訓練に関すること。
	4. 予防広報に関すること。
	5. 富里市火災予防条例（昭和36年富里市条例第20号）に基づく
	届出の受理及び処理に関すること。

■年度別一般会計当初予算及び消防費の比率

区分 年度	一般会計当初予算 歳出額 (A) (千円)	消防費 歳出額 (B) (千円)	比 率 (B/A) (%)	一世帯当りの消防費 (円)	市民一人当りの消防費 (円)
平成25年	13,802,000	787,056	5.70	37,445	15,729
平成26年	15,003,000	844,125	5.63	39,647	16,913
平成27年	15,727,000	808,921	5.14	37,322	16,208
平成28年	15,722,000	771,126	4.90	35,112	15,454
平成29年	15,504,000	781,189	5.04	34,655	15,594
平成30年	14,340,000	723,049	5.04	31,377	14,388
平成31年 (令和元年)	14,232,000	806,885	5.67	34,534	16,106
令和2年	14,944,000	686,809	4.60	28,843	13,692
令和3年	15,316,000	680,185	4.44	28,680	13,701
令和4年	15,921,000	749,842	4.71	31,436	15,194

■年度別消防費予算額内訳

(千円)

年度	消防費	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
平成30年	723,049	668,620	35,893	18,536
平成31年 (令和元年)	806,885	681,415	32,526	92,944
令和2年	686,809	645,158	33,932	7,719
令和3年	680,185	620,319	33,404	26,462
令和4年	749,842	631,537	38,682	79,623

■消防費節別構成比 (令和4年度)

(千円)

節 名	報 酬	給 料	職員手当等	共済費	需用費	委託料	備品購入費	負担金補助等	消防施設費	その他	合計
金 額	21,228	293,573	180,437	92,927	16,403	13,895	11,001	30,820	79,623	9,935	749,842
構 成 比	2.8%	39.2%	24.1%	12.4%	2.2%	1.9%	1.5%	4.1%	10.6%	1.3%	100%

■消防庁舎の現況

区 分	富里市消防本部・富里市消防署	富里市消防署北分署
所 在 地	富里市七栄735番地2	富里市日吉倉1096番地2
敷 地 面 積	6,505.23㎡	2,475.05㎡
建 築 面 積	1,260.79㎡	525.18㎡
延 床 面 積	2,215.95㎡	794.67㎡
付 属 施 設	①訓練塔 (主塔・副塔) ②危険物自家用給油取扱所 ③救急消毒室	①ホース乾燥塔 1基 ②危険物庫 9㎡
構 造	(庁舎) 鉄筋コンクリート3階建 一部鉄骨造平屋建 (訓練塔主塔) 鉄筋コンクリート5階建 (訓練塔副塔) 鉄骨造2階建 (救急消毒室) 鉄骨ALC造	(庁舎) 鉄筋コンクリート2階建 (ホース乾燥塔) 鉄骨造 (危険物庫) コンクリートブロック造 平屋建て
工 期	(自) 昭和59年5月26日 (至) 昭和60年3月16日	(自) 平成10年6月24日 (自) 平成11年3月23日

■職員配置

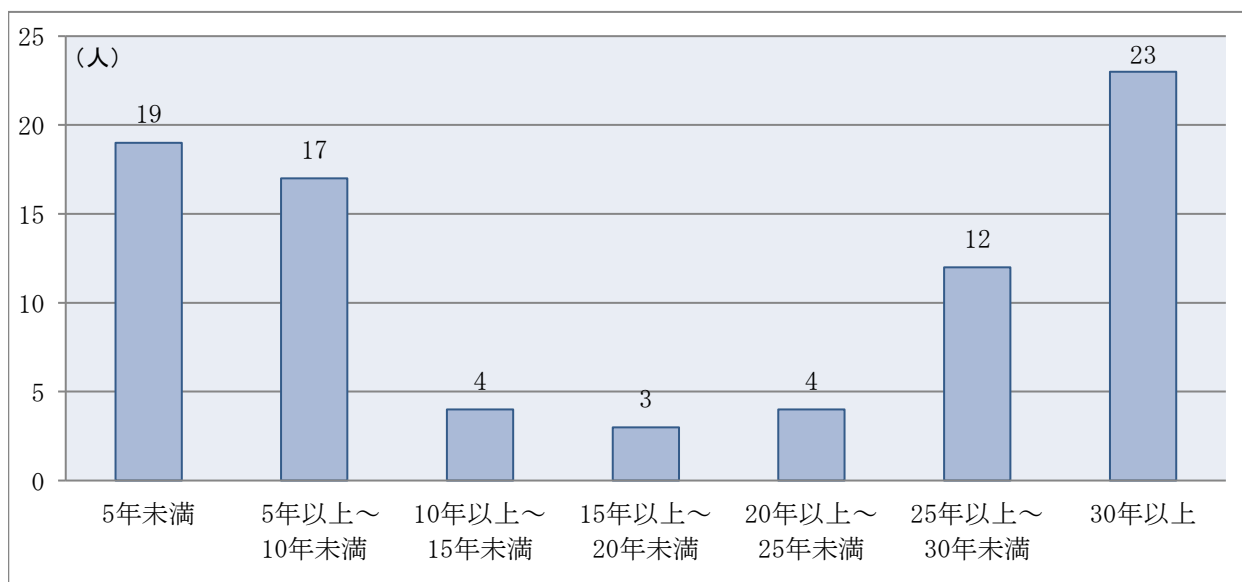
(令和4年4月1日現在)

階級 所属		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他職員	計
		消防本部	消防長	1					
	次長								
	総務課		2	4	1	1		1	9
	予防課		2	2	1				5
	小計	1	4	6	2	1		1	15
消防署	本署		3	17	5	9	11		45
	通信室			3		1			4
	北分署			9			9		18
	小計		3	29	5	10	20		67
合計		1	7	35	7	11	20	1	82

■職員階級別勤続年数

(令和4年4月1日現在)

階級 年数	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他職員	合計
5年未満					2	17		19
5年以上～ 10年未満				5	9	3		17
10年以上～ 15年未満			1	2			1	4
15年以上～ 20年未満			3					3
20年以上～ 25年未満			4					4
25年以上～ 30年未満			12					12
30年以上	1	7	15					23
合計	1	7	35	7	11	20	1	82



■年度別職員数

(各年度4月1日現在)

年度	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年
職員定数	25	31	36	44	44	47	47	47	52	52
職員数	25	31	35	44	44	47	47	47	51	51
年度	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
職員定数	54	57	61	65	68	75	75	80	81	83
職員数	53	56	61	64	66	73	75	78	81	82
年度	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
職員定数	83	83	83	83	85	83	82	82	82	82
職員数	83	83	83	83	85	83	82	81	81	81
年度	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
職員定数	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
職員数	81	82	81	80	81	82	82	82	81	82
年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年						
職員定数	82	82	82	82						
職員数	82	80	82	82						

※再任用職員を除く

■年度別再任用職員配置状況

(各年度4月1日現在)

所 属 課	階 級	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年	令和4年
消 防 総 務 課	消 防 司 令 補	1				
	消 防 士 長					
	そ の 他 職 員					
予 防 課	消 防 司 令 補					
	消 防 士 長					
	そ の 他 職 員	1				
消 防 署	消 防 司 令 補					
	消 防 士 長	1				
	そ の 他 職 員					
合 計		3	再任用 職員なし	再任用 職員なし	再任用 職員なし	再任用 職員なし

(単位：人)

■職員年齢別階級

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他職員	総数
	1	7	35	7	11	20	1	82
18								
19						1		1
20								
21						3		3
22								
23						5		5
24						5		5
25					1			1
26					1	3		4
27					6	2		8
28						1		1
29				1				1
30				2	2			4
31				1				1
32								
33				1	1			2
34							1	1
35				2				2
36			1					1
37								
38								
39			1					1
40			1					1
41								
42			3					3
43			1					1
44			1					1
45								
46			4					4
47			2					2
48			6					6
49			4					4
50								
51			5					5
52			1					1
53		2	1					3
54								
55		1						1
56		1	2					3
57		1						1
58		2						2
59	1		2					3
年齢平均							38.6 歳	

■職員研修状況

(令和4年4月1日現在)

		平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 (令和元年度)	令和 2年度	令和 3年度
消防大学校	警 防 科					
	救 助 科					1
	救 急 科				1	
	予 防 科					
	火 災 調 査 科					
	新 任 教 官 科				1	
千葉県消防学校	初 任 科	4	3	2	3	4
	特 殊 災 害 科	1	1	1	1	
	予 防 査 察 科		1		1	1
	危 険 物 科			1		
	火 災 調 査 科	1	1	1	1	1
	救 急 科	4	1	3	2	4
	救 助 科	2	2	2	1	2
	中 級 幹 部 科	1	1		1	
	訓 練 指 導 科	2	2	2		2
	はしご自動車等講習会					
	救急救命士処置範囲拡大2行為追加講習		1			
	救急救命士再教育					1
救急救命 研修所	救急救命士研修課程（東京）					
	指導救命士養成課程（九州）			1		
千葉県自治研修センター等	管 理 職 特 別 セ ミ ナ ー 等		2			
	課 長 研 修					
	課 長 補 佐 研 修		2		1	1
	法 制 執 務 研 修		5			1
	そ の 他 研 修	1	4	2	6	5
計		16	26	15	19	23

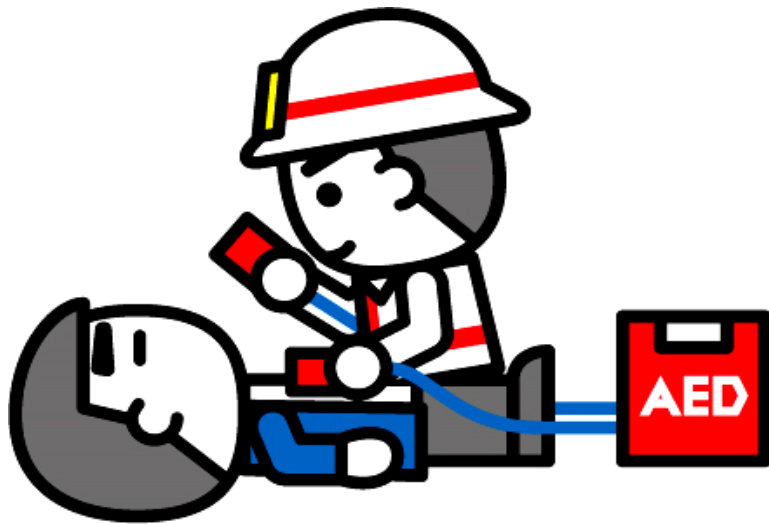
■職員資格取得状況

(令和4年4月1日現在)

種別	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	合計
		自動車運転免許	大型自動車		5	27	5	3	1
	中型自動車			1		5	7		13
	中型自動車(8t限定)	1	2	7					10
	準中型自動車(5t限定)				2	3	10	1	16
	普通自動車					1	7		8
	大型二種		2	2					4
	大型特殊			1	3	1			5
	けん引		1	2					3
	自動二輪(大)		3	7		1	2		13
	自動二輪(中)		2	9	1	1	3		16
無線従事者免状	第2級陸上特殊無線技士		7	7	1				15
	第3級陸上特殊無線技士			28	6	11	14	1	60
取扱者	乙種4類		3	8	5	8	6		30
	丙種			10					10
設備	乙種6類		1						1
予防技術資格者	防火査察		2	4	1	1			8
	消防用設備等		2	4					6
	危険物		2	2					4
労働安全衛生法関係	5t未満小型移動式クレーン		5	17	3	3	1		29
	玉掛技能士		5	14	2	2	3		26
	ガス溶接技能士		5	14					19
	アーク溶接技能士								
	第一種衛生管理者			2					2
	特定化学物質作業主任者		1	2					3
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		3	8	1		1		13
救急その他関係	救急救命士		1	7	2	6	4		20
	特別管理産業廃棄物管理責任者			2	1	1			4
	小型船舶操縦士		3	4					7

※予防技術資格者は従事経験認定者も含む。

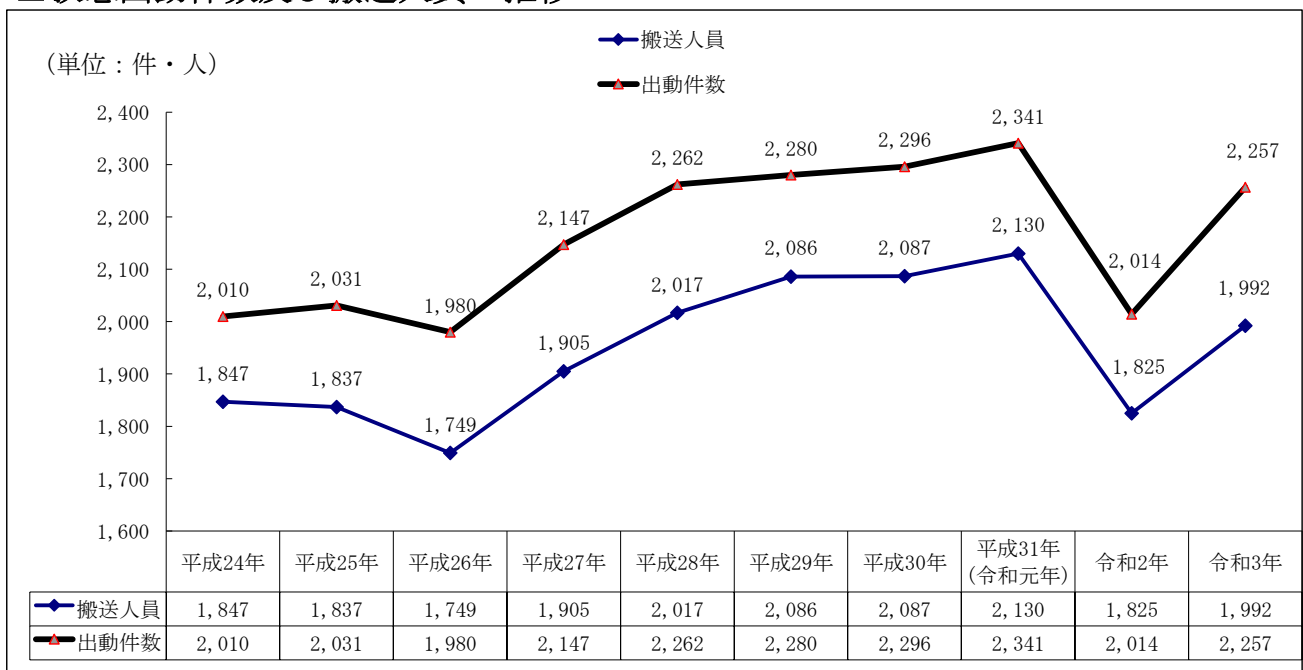
防 警



■年別救急出動件数

種別 年	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
											転院	医師搬送等	その他	
平成24年	28			291	24	7	249	18	25	1,258	86	1	23	2,010
平成25年	24			286	25	7	225	22	35	1,308	74		25	2,031
平成26年	25			248	40	8	264	20	34	1,241	74		26	1,980
平成27年	16			265	26	7	273	23	33	1,350	130		24	2,147
平成28年	17	2		280	27	8	286	20	30	1,395	152	1	44	2,262
平成29年	11			288	21	8	257	20	28	1,419	189	1	38	2,280
平成30年	27			229	24	11	281	17	27	1,475	168		37	2,296
平成31年 (令和元年)	14	3		244	36	10	319	17	29	1,489	145		35	2,341
令和2年	13			189	20	8	296	12	24	1,259	138		55	2,014
令和3年	18	1		164	22	1	301	14	20	1,533	100		83	2,257
令和3年 月別出動件数	1月	2		14	1		22		1	140	3		3	186
	2月			9			23	2	2	117	3		5	161
	3月			10	2		14	2	2	113	9		6	158
	4月			16	2		28		1	102	9		4	162
	5月	4		11	2		13		2	133	10		6	181
	6月			16	2		18	2		101	7		7	153
	7月	2		19	2		23	1	3	145	8		3	206
	8月	2		11	2		24	1		168	16		11	235
	9月	4		12	3		32		2	139	13		6	211
	10月	2	1	13	2	1	35	3	2	140	10		8	217
	11月			20	1		25	3	3	117	5		14	188
	12月	2		13	3		44		2	118	7		10	199

■救急出動件数及び搬送人員の推移



■年別搬送人員

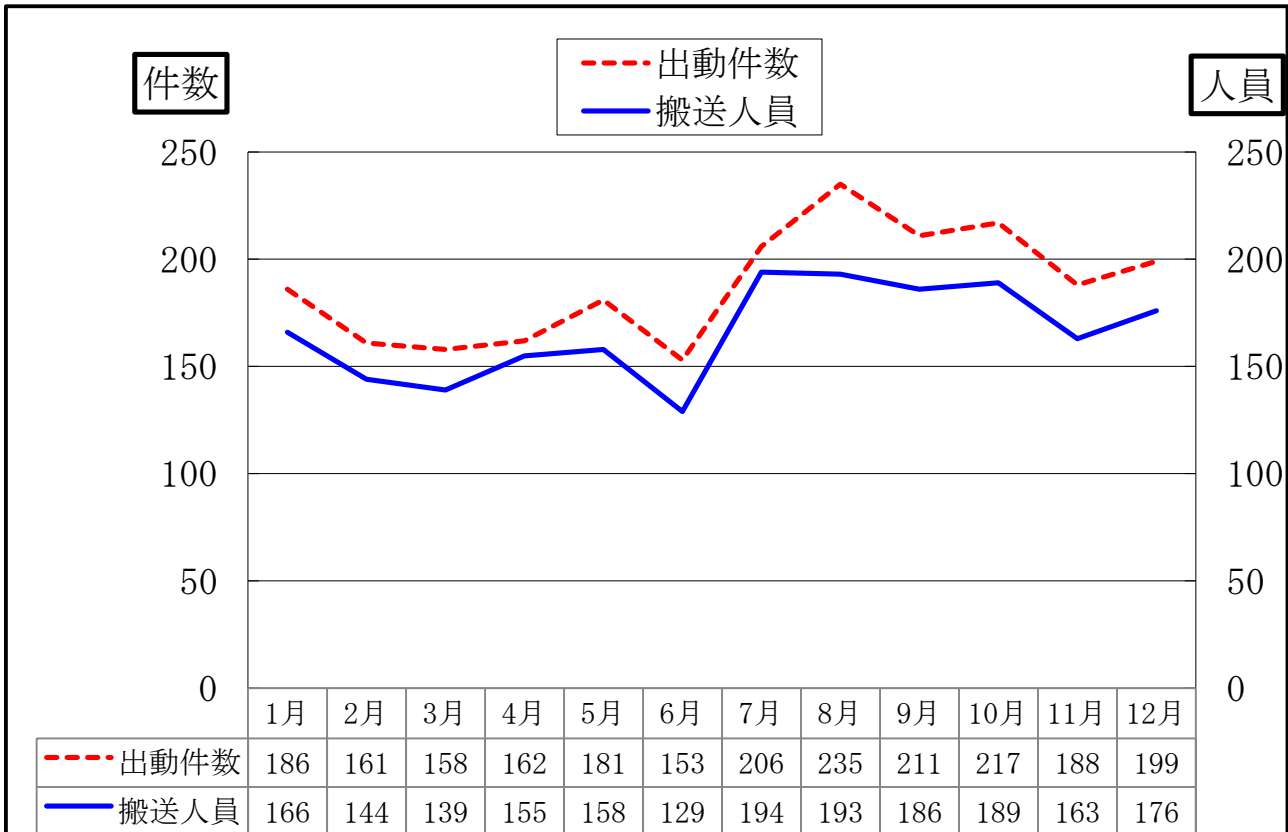
年	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他 (転院搬送含む)	合計
	平成24年	3				317	23	6	231	15	15	1,151	86
平成25年	3				310	25	7	204	16	21	1,175	76	1,837
平成26年	3				243	37	9	237	11	23	1,110	76	1,749
平成27年					275	26	7	246	17	23	1,175	136	1,905
平成28年			1		286	27	9	265	12	23	1,231	163	2,017
平成29年	1				287	20	8	237	12	16	1,316	189	2,086
平成30年	1				223	23	11	256	12	18	1,373	170	2,087
平成31年 (令和元年)	3	3			234	35	10	291	10	20	1,377	147	2,130
令和2年	3				183	19	8	281	9	17	1,163	142	1,825
令和3年	1	1			160	21	1	268	11	13	1,416	100	1,992
令和3年 月別搬送人員	1月				12	1		20		1	129	3	166
	2月				9			19	2	2	108	4	144
	3月				10	2		14	1	2	101	9	139
	4月				20	1		26			98	10	155
	5月				9	2		13		1	123	10	158
	6月				15	2		13	1		91	7	129
	7月				23	2		22	1	1	137	8	194
	8月				6	2		22			148	15	193
	9月	1			10	3		27		2	130	13	186
	10月		1		12	2	1	30	3	1	129	10	189
	11月				21	1		22	3	2	109	5	163
	12月				13	3		40		1	113	6	176

■年別搬送人員の傷病程度

年	傷病程度	死亡 (%)	重症 (%)	中等症 (%)	軽症 (%)	その他 (%)	合計
平成24年		45 (2.4)	161 (8.7)	713 (38.6)	927 (50.2)	1 (0.1)	1,847
平成25年		35 (1.9)	128 (7.0)	738 (40.2)	935 (50.9)	1 (0.1)	1,837
平成26年		35 (2.0)	148 (8.5)	689 (39.4)	877 (50.1)		1,749
平成27年		33 (1.7)	137 (7.2)	808 (42.4)	926 (48.6)	1 (0.1)	1,905
平成28年		34 (1.7)	180 (8.9)	811 (40.2)	992 (49.2)		2,017
平成29年		34 (1.6)	180 (8.6)	890 (42.7)	981 (47.0)	1 (0.0)	2,086
平成30年		32 (1.5)	158 (7.6)	903 (43.3)	991 (47.5)	3 (0.1)	2,087
平成31年 (令和元年)		36 (1.7)	171 (8.0)	955 (44.8)	968 (45.4)		2,130
令和2年		20 (1.1)	164 (9.0)	831 (45.5)	810 (45.5)		1,825
令和3年		35 (1.8)	137 (6.9)	897 (45.0)	923 (46.3)		1,992

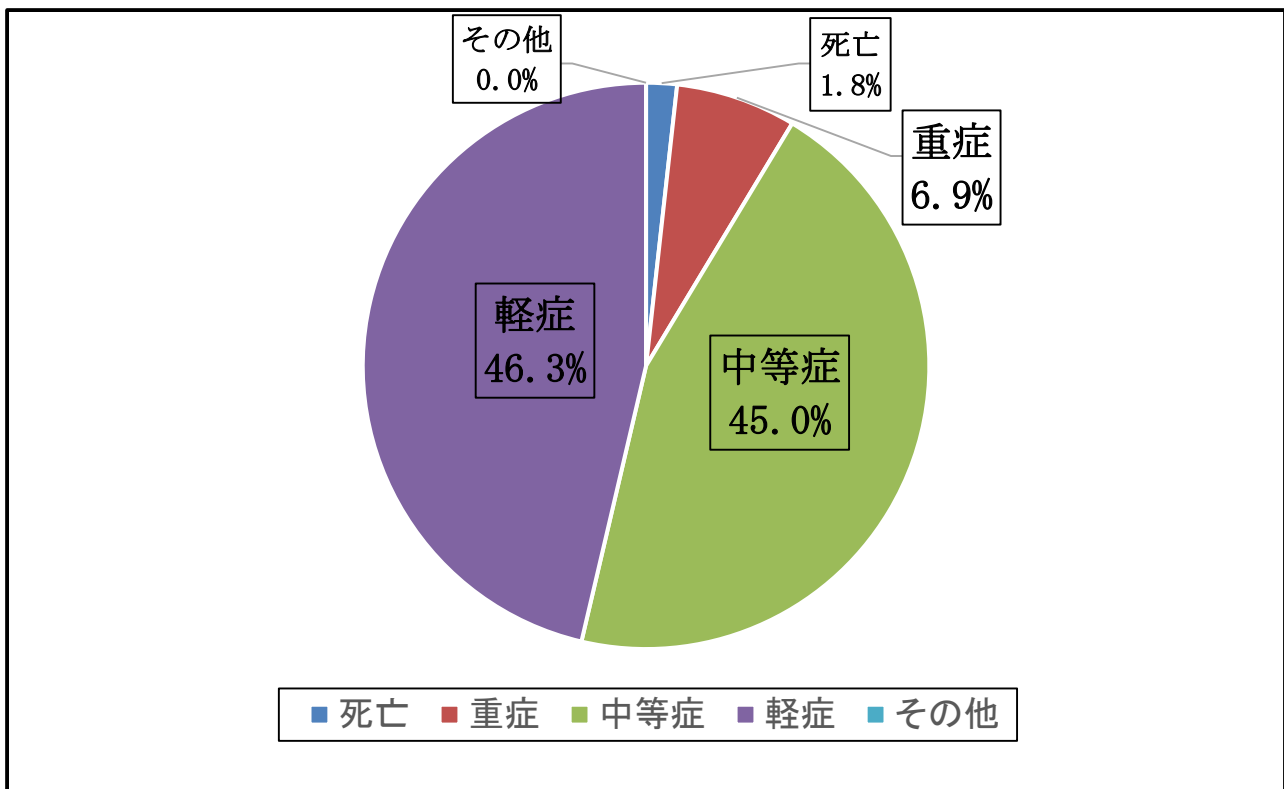
■月別出動件数，搬送人員の推移

(令和3年)



■傷病程度別搬送状況

(令和3年)



■事故種別・傷病程度別救急搬送人員

(令和3年)

年齢区分	事故種別 傷病程度	事故種別											合計	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
0日～28日未満 新生児	死亡													
	重症													
	中等症											1		1
	軽症							1			1			2
	その他													
	計							1			1	1		3
28日以上7歳未満 乳幼児	死亡													
	重症										1			1
	中等症							5			18	1		24
	軽症				4			18			26			48
	その他													
	計				4			23			45	1		73
7歳以上18歳未満 少年	死亡													
	重症													
	中等症		1		3		1	2			5	2		14
	軽症				15			16			13			44
	その他													
	計		1		18		1	18			18	2		58
18歳以上65歳未満 成人	死亡				1						6			7
	重症				4	3		2		1	21	11		42
	中等症				19	6		21	2	7	229	25		309
	軽症				78	5		37	9	4	249	6		388
	その他													
	計				102	14		60	11	12	505	42		746
65歳以上 高齢者	死亡							1			26	1		28
	重症				3	1		10			66	14		94
	中等症				7	3		71		1	439	28		549
	軽症	1			26	3		84			316	11		441
	その他													
	計	1			36	7		166		1	847	54		1,112
合計	死亡				1			1			32	1		35
	重症				7	4		12		1	88	25		137
	中等症		1		29	9	1	99	2	8	691	57		897
	軽症	1			123	8		156	9	4	605	17		923
	その他													
	計	1	1		160	21	1	268	11	13	1,416	100		1,992

■曜日別救急出動件数

(令和3年)

事故種別 曜日別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材等運輸	その他	
月	8			19	4		46	2	3	225	22			17	346
火				23	2		45	1	5	236	16			12	340
水	4			21	1		49	1	2	221	13			9	321
木	2	1		22	4		38	3	1	226	10			12	319
金	1			26	3		49	2	4	200	16			14	315
土	2			30	7	1	37	1	4	203	19			12	316
日	1			23	1		37	4	1	222	4			7	300
合計	18	1		164	22	1	301	14	20	1,533	100			83	2,257

■時間別救急出動件数

(令和3年)

事故種別 時間別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材等運輸	その他	
0~2	2			1	1		10	1	2	73	1			2	93
2~4	2			3			7	1		79				2	94
4~6	2			3			10	1	1	98				2	117
6~8				10			20	4		135	1			6	176
8~10				18	6		40		2	171	5			10	252
10~12	2			13	7	1	37		1	157	22			8	248
12~14	3			22	2		50		2	134	24			11	248
14~16	2			19	3		28	2	3	150	16			4	227
16~18	5			25	1		43	2	2	139	14			13	244
18~20				27			29	1	2	161	9			10	239
20~22				13	2		18	1	4	150	5			5	198
22~24		1		10			9	1	1	86	3			10	121
合計	18	1		164	22	1	301	14	20	1,533	100			83	2,257

■応援・受援の状況

(令和3年)

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		応援	救急隊		1	2	1		1	2			1	1
消防隊														
受援	救急隊	3	2	1	1	1	1	3	1	3	1	6	1	24
	消防隊													

■年別ドクターヘリ出動状況

年別	事故種別											
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成29年				3	4		2		1	5	2	17
平成30年				4	2		4			3	2	15
平成31年 (令和元年)				3	1		2			4	1	11
令和2年				1	5					1	2	9
令和3年				2	2		4			1		9

■ドクターヘリ離着陸場

(令和4年4月1日現在)

学校（10ヶ所）		公園・その他（6ヶ所）	
指定場所	所在地	指定場所	所在地
日吉台小学校	富里市日吉台4-21	高野運動広場	富里市高野627-1
富里北中学校	富里市日吉倉1515-31	市営運動場	富里市十倉557-3
根木名小学校	富里市根木名1005-3	ふるさと自然公園	富里市七栄574-1
七栄小学校	富里市七栄132-7	日吉台第七児童公園	富里市日吉台5-24-1
富里小学校	富里市七栄720	富里工業団地公園	富里市立沢新田156-2
富里中学校	富里市七栄652-226	新木戸大銀杏公園	新木戸土地区画整理事業地区内
富里第一小学校	富里市中沢573-1		
富里南中学校	富里市十倉127-38		
富里南小学校	富里市御料4-1		
浩養小学校	富里市十倉185-54		



【日本医科大学千葉北総病院ドクターヘリ】

■ドクターヘリ出動要請の基準

救急現場において以下の条項のいずれかが認められる時は、出動を要請できるものとする。

a	生命の危険が切迫しているか、その可能性が疑われるとき。
b	重症患者であって搬送に長時間を要することが疑われるとき。
c	特殊救急疾患の患者（重症熱傷・多発外傷・指肢切断等）搬送時間の短縮を特に図るとき。
d	救急現場で救急診断処置に医師を必要とするとき。

■ 応急手当の普及状況

急病や交通事故をはじめとする各種の救急事案が発生したとき、傷病者の「救命」は、救急隊が現場に到着するまでの間、その場に居合わせた人（バイスタンダー）の手に握られています。この救急隊が到着するまでの間を「空白の時間」とすることなく、傷病者に対して適切な応急手当を行っていただくため、消防本部では、各種救急講習会を開催し、市民とともに救命率の向上を目指しています。

なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、中止又は感染症拡大防止対策を施した上で実施しました。

● 令和3年度 普通救命講習会月・年齢別受講者数

月	年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
4月				1	2		1	4
5月				2				2
6月								
7月			2		2	1		5
8月								
9月								
10月			1		2	2	1	6
11月						4		4
12月					2	3		5
1月					1		1	2
2月								
3月								
合計			3	3	9	10	3	28

※普通救命講習とは…

突然死を防ぐための迅速な通報や応急手当などの必要性の講義と、心肺蘇生法・AED（自動体外式除細動器）の使用法・窒息時の対処方法及び大出血時の止血法など、実技を中心とした3時間の講義です。講習修了者には、普通救命講習修了証を交付します。

※AED（自動体外式除細動器）

心臓が心室細動という痙攣しているような状態のときに、電気ショックをかけて正常な心臓の動きに戻すための医療機器です。2004年7月より、市民によるAEDの使用が認められました。

● 令和3年度 上級救命講習会実施月・年齢別受講者数

月	年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。								

※上級救命講習とは…

普通救命講習の内容に加え、小児・乳児の心肺蘇生法・各種応急手当・保温法・体位管理法・搬送法を学びます。

また、試験として実技試験のほかに筆記試験があり、全体で8時間の講習です。講習修了者には、上級救命講習修了証を交付します。

■災害出動状況（令和3年度）

●火災出動件数

種別 月	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	誤報	合計
4月						2	1	3
5月	4						1	5
6月								
7月	1						1	2
8月			1				2	3
9月	1						4	5
10月	1		1					2
11月								
12月							2	2
1月	3		1			1		5
2月						1		1
3月						4	1	5
合計	10		3			8	12	33

※事後聞知火災（火災通報時において既に鎮火しているもの）は含まれていません。

●その他出動件数

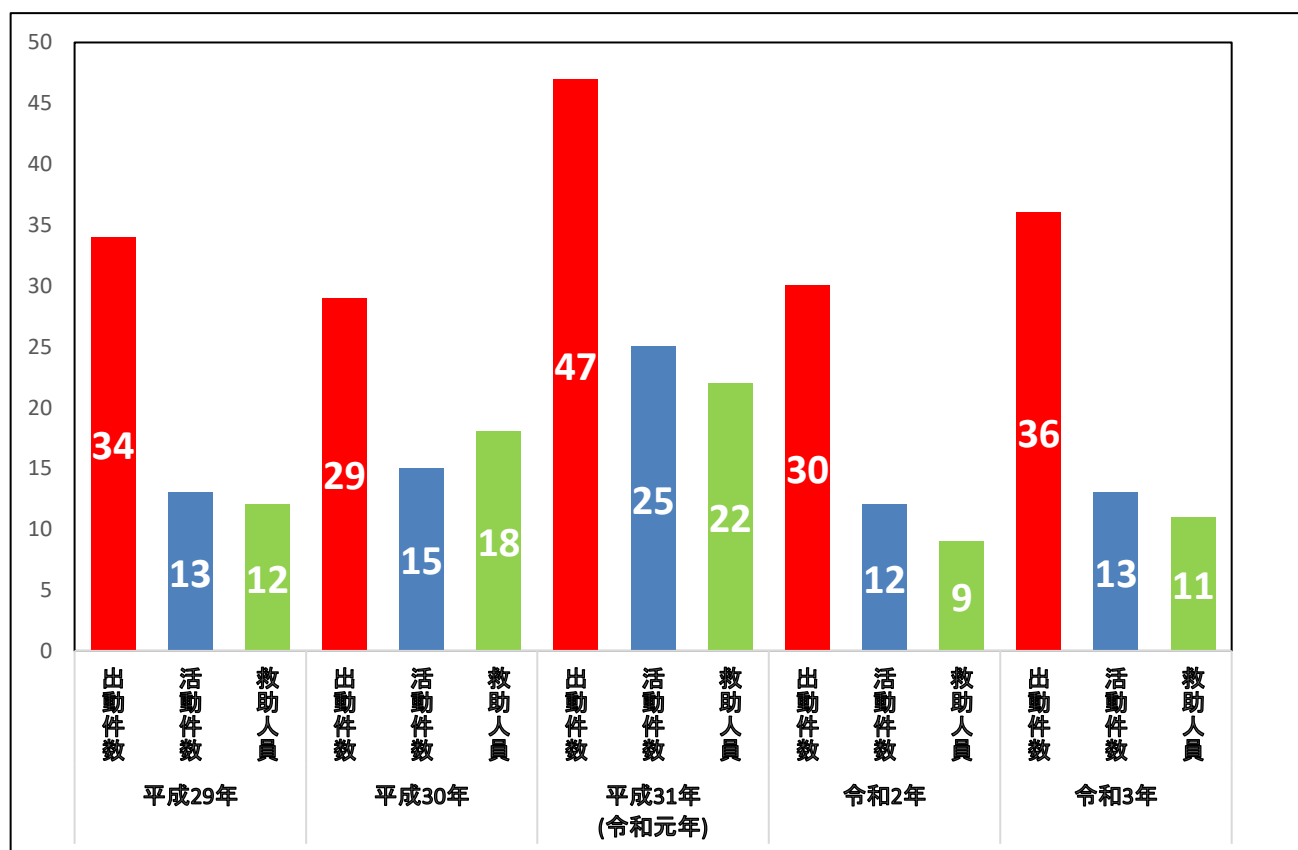
種別 月	危険物	特別危険物	危険排除	緊急確認	救急支援	PA連携	警戒	他市応援	風水害	その他	合計
4月			1	3	32	1					37
5月			3	5	21	1					30
6月			3	5	18						26
7月			3	1	31	4			2		41
8月			2	1	19	1					23
9月				5	18	3					26
10月			1	2	24	1					28
11月			3	4	29	6					42
12月			1	4	23	1					29
1月			3	4	26	2					35
2月				1	17	5					23
3月				2	21	5					28
合計			20	37	279	30			2		368

※上記その他出動件数のうち救急支援内訳

種別 月	交通	急病	自然災害	水難	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	その他	合計
4月	1	22			1		4		1	3	32
5月	1	17					1			2	21
6月		10					3	1		4	18
7月	2	20					3		2	4	31
8月	2	15									17
9月	1	15			1		1			2	20
10月		18					2		2	2	24
11月	1	22			1		1	1	2	1	29
12月	2	12					2		1	6	23
1月	1	16					2	1		6	26
2月		15					1			1	17
3月	2	12							2	5	21
合計	13	194			3		20	3	10	36	279

■年別救助出動及び活動状況

年	種別	火災	交通事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他	合計
	平成29年	出動件数		13	2	11		8
活動件数			3	1	7		2	13
救助人員			3	1	6		2	12
平成30年	出動件数	3	10	1	10		5	29
	活動件数	3	5		6		1	15
	救助人員	5	5		6		2	18
平成31年 (令和元年)	出動件数		15	5	21		6	47
	活動件数		5		17		3	25
	救助人員		5		14		3	22
令和2年	出動件数	1	9	2	16		2	30
	活動件数	1	3		8			12
	救助人員		3		6			9
令和3年	出動件数	1	7	4	15		9	36
	活動件数	1	2	1	5		4	13
	救助人員	1	2	1	3		4	11



■ 消防本部・署車両ポンプ一覧表

(令和4年4月1日現在)

配置先	呼称	型別	車名 (メーカー)	ポンプ 級別	初年度登録	購入先
消防本部	査察車		トヨタ		H10.12.17	トヨタカローラ千葉(株)
	事務車(バン)		トヨタ		H14.5.22	トヨタカローラ千葉(株)
	指揮・広報車(団用)		三菱		H23.7.21	成田三菱自動車販売(株)
	公用車		トヨタ		H25.7.22	石井自動車工業(有)
	事務車(セダン)		トヨタ		H14.4.10	トヨタカローラ千葉(株)
消防署	化学消防自動車	Ⅱ型	日野	A2	H12.1.11	日本ドライケミカル(株)
	資機材搬送車(トラック)		いすゞ		H24.2.14	いすゞ自動車(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H9.2.21	大成産業(株)
	水槽付消防ポンプ自動車	I-A	いすゞ	A2	H22.2.16	日本機械工業(株)
	救急自動車1号	高規	トヨタ		H30.2.16	千葉トヨタ自動車(株)
	救急自動車2号	高規	トヨタ		H24.10.24	千葉トヨタ自動車(株)
	指揮車		トヨタ		H26.2.4	平和機械(株)
	救助工作車	Ⅱ型	日野		H23.11.4	帝商(株)
北分署	救急自動車3号	高規	トヨタ		H27.1.20	千葉トヨタ自動車(株)
	事務車		スズキ		H6.5.13	寄贈(ロータリークラブ)
	水槽付消防ポンプ自動車	I-A	日野	A2	H12.11.13	日本ドライケミカル(株)
	消防ポンプ自動車	CD-I	日野	A2	H14.2.19	日本機械工業(株)

■ 消防水利の状況

(各年4月1日現在)

年	区分 合計	消火栓			防火水槽								その他				
		小計 (ア) (イ) (ウ)	公 設	私 設	小計 (イ)	公 設				私 設		小計 (ウ)	河 川	プ ール	池 等	そ の 他	
						100㎡ 以上	60㎡ 以上 100㎡ 未満	40㎡ 以上 60㎡ 未満	20㎡ 以上 40㎡ 未満	60㎡ 以上 100㎡ 未満	40㎡ 以上 60㎡ 未満						
平成25年	1,099	759	719	40	294 (20)	2 (1)	1	213 (11)	31	1	46 (8)	46	10	12	3	21	
平成26年	1,105	764	724	40	295 (21)	2 (1)	1	213 (11)	31	1	47 (9)	46	10	12	3	21	
平成27年	1,109	769	729	40	297 (23)	2 (1)	1	213 (12)	31	1	49 (10)	43	10	9	3	21	
平成28年	1,114	770	730	40	301 (27)	2 (1)	1	213 (12)	31	1	53 (14)	43	10	9	3	21	
平成29年	1,113	770	730	40	300 (27)	2 (1)	1	213 (12)	30	1	53 (14)	43	10	9	3	21	
平成30年	1,144	773	736	37	298 (27)	2 (1)	1	211 (12)	30	1	53 (14)	73	10	9	3	51	
平成31年 (令和元年)	1,143	773	736	37	297 (26)	2 (0)	1	211 (11)	29	1	53 (13)	73	10	9	3	51	
令和2年	1,144	774	737	37	297 (27)	2 (1)	1	211 (12)	29	1	53 (14)	73	10	9	3	51	
令和3年	1,147	777	740	37	297 (28)	2 (1)	1	212 (12)	29	1	52 (15)	73	10	9	3	51	
令和4年	1,153	778	742	36	296 (29)	2 (1)	1	211 (13)	29	1	52 (15)	79	10	9	3	57	

※ () 内は耐震性貯水槽

■ 応援協定及び業務協定

◆ 千葉県広域消防相互応援協定

○昭和40年7月19日締結

千葉県下の市町村及び一部事務組合が、災害の予防・鎮圧等に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援協定体制を確立し、不測の事態に対処することを目的に締結した。

・構成団体

千葉県内市町村、香取市広域市町村圏事務組合、匝瑳市横芝光町消防組合、長生郡市広域市町村圏組合、安房郡市広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、印西地区消防組合、山武郡市広域行政組合、夷隅郡市広域市町村圏事務組合

◆ 東関東自動車道及び新空港自動車道消防相互応援協定

○昭和46年10月15日締結

協定区域における火災、救急事故及びその他の災害が発生した場合において、協定市町等の相互間及び日本道路公団の消防力を活用して災害による被害を軽減することを目的に締結した。

・構成団体

千葉市、市川市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、浦安市、四街道市、酒々井町、富里市、香取広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、潮来市鹿行広域事務組合

◆ 成田国際空港消防相互応援協定

○昭和53年3月18日締結

空港及びその周辺における航空機に関する災害又はその発生のおそれのある事態に際し、相互に緊密な協力のもとに消火救難活動を実施し、被害の防止又は軽減を図ることを目的に締結した。

・構成団体

成田市、香取広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、山武郡市広域行政組合、四街道市、印西地区消防組合、匝瑳市横芝光町消防組合、栄町、富里市、成田国際空港株式会社

◆ 成田市・富里市消防相互応援協定

○平成11年6月1日締結

成田市、富里市相互の消防力を活用して火災、救急事故及びその他の災害による被害を最小限に防止することを目的に締結した。

◆携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定

○平成10年4月15日

自動車電話・携帯電話からの緊急通報の対応について、円滑な運用を図ることを目的に締結した。

・構成団体

成田市、銚子市、富里市、香取市町村圏事務組合、旭市

◆救急救命士業務に係る救急救命処置に関する協定

○平成13年4月1日締結

救急救命士業務の円滑な運用を図ることを目的に締結した。

・構成団体

成田赤十字病院、日本医科大学千葉北総病院、東邦大学医療センター佐倉病院、北総栄病院、新八街総合病院、富里市消防本部

◆印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会の運営に係る経費の負担に関する協定

○平成16年4月1日締結

メディカルコントロール体制構築のための運営に関し、必要な事項を定めることを目的に締結した。

・構成団体

印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会、佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部、成田市消防本部、印西地区消防組合消防本部、四街道市消防本部、富里市消防本部、栄町消防本部、成田赤十字病院、日本医科大学千葉北総病院、東邦大学医療センター佐倉病院

◆鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定書

○平成21年3月31日締結

鉄道災害が発生し、又は発生するおそれのある場合、千葉県内の消防本部と鉄道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図る目的に締結した。

(甲) 県内31消防本部

(乙) 東日本旅客鉄道株式会社東京支社、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、京成電鉄株式会社、東武鉄道株式会社、新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、流鉄株式会社、東京都交通局、京葉臨海鉄道株式会社、東葉高速鉄道株式会社、芝山鉄道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、株式会社舞浜リゾートライン、千葉都市モノレール株式会社

(丙) 千葉県総務部消防地震防災課

◆ラピッドカー運用に関する協定書

○平成22年3月17日締結

日本医科大学千葉北総病院と佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部、成田市消防本部、四街道市消防本部、印西地区消防組合消防本部、富里市消防本部、栄町消防本部は、日本医科大学千葉北総病院が保有する千葉県ラピッドカーの運用に関して協定を締結した。

◆地域用水に関する協定書

○平成24年3月29日締結（令和4年3月31日 一部変更）

北総中央用水を消火用水として使用するため、北総中央用水土地改良区と協定を締結した。

◆消防活動の協力に関する協定書

○平成30年3月22日締結

富里市内で発生した災害において、富里市が行う消防活動に対する富里市商工業促進協議会からの協力に関して円滑化を図るため、富里市商工業促進協議会と協定を締結した。

◆災害時における消防用水等の確保に関する協定書

○平成30年5月29日締結

災害時に必要な消防用水等を確保するため、千葉県北総生コンクリート協同組合と協定を締結した。

◆新型コロナウイルス感染症患者等の移送に関する協定書

○令和2年4月1日締結

新型コロナウイルス感染症の患者の症状から救急搬送が適当である場合や同一保健所管内で同時に複数の患者等が発生するなど、甲の移送能力を超える事態が生じた場合において、乙の協力を受け、円滑に患者等を移送し、感染症のまん延防止を図ることを目的に締結した。

(甲) 千葉県健康福祉部

(乙) 県内消防本部（千葉市消防局、船橋市消防局及び柏市消防局を除く）

◆派遣職員の取扱い等に関する協定書

○令和2年12月28日締結

県（県消防学校）へ本市職員を派遣することに関して基本的な事項について定めたもの。

（甲） 千葉県

（乙） 富里市

◆新型コロナウイルス感染症患者等の移送に関する協定書

○令和4年2月9日締結

新型コロナウイルス感染症の患者の症状から救急搬送が適当である場合や検疫所内で同時に複数の患者等が発生するなど、甲の移送能力を超える事態が生じた場合において、乙の協力を受け、円滑に患者等を移送し、感染症のまん延防止を図ることを目的に締結した。

（甲） 成田空港検疫所

（乙） 富里市消防本部

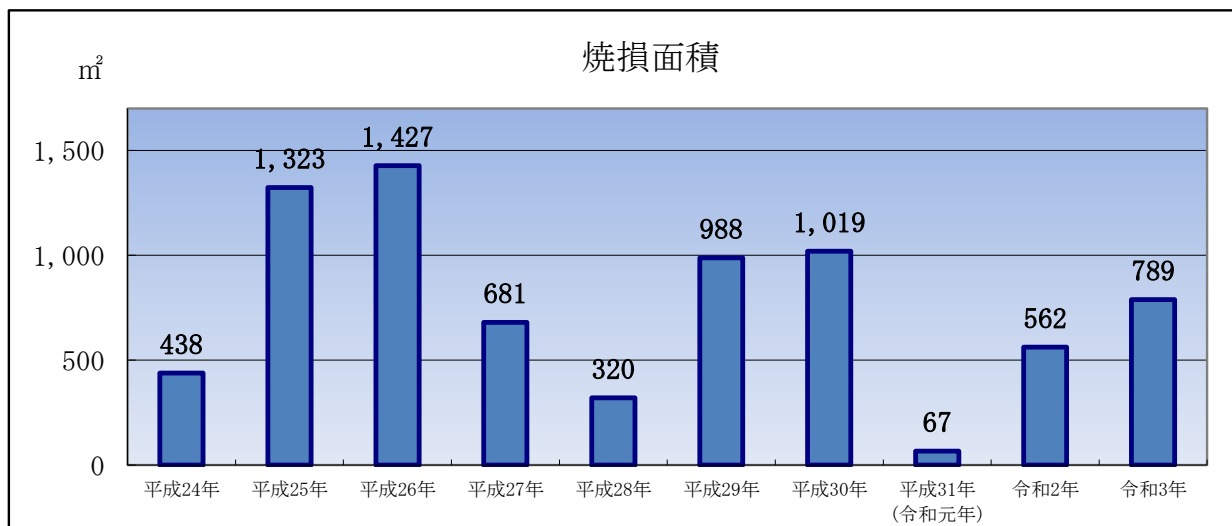
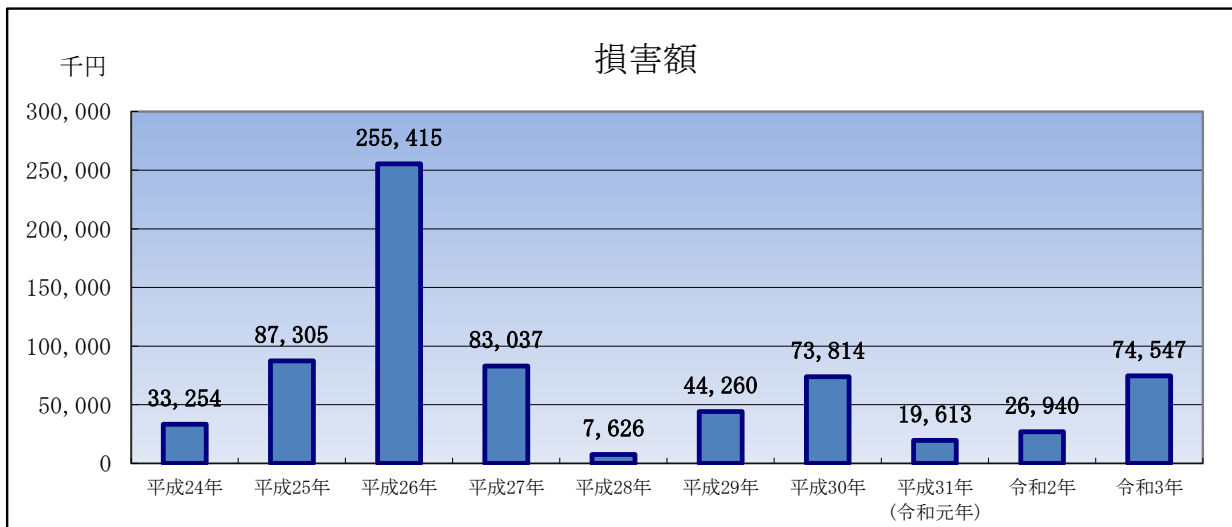
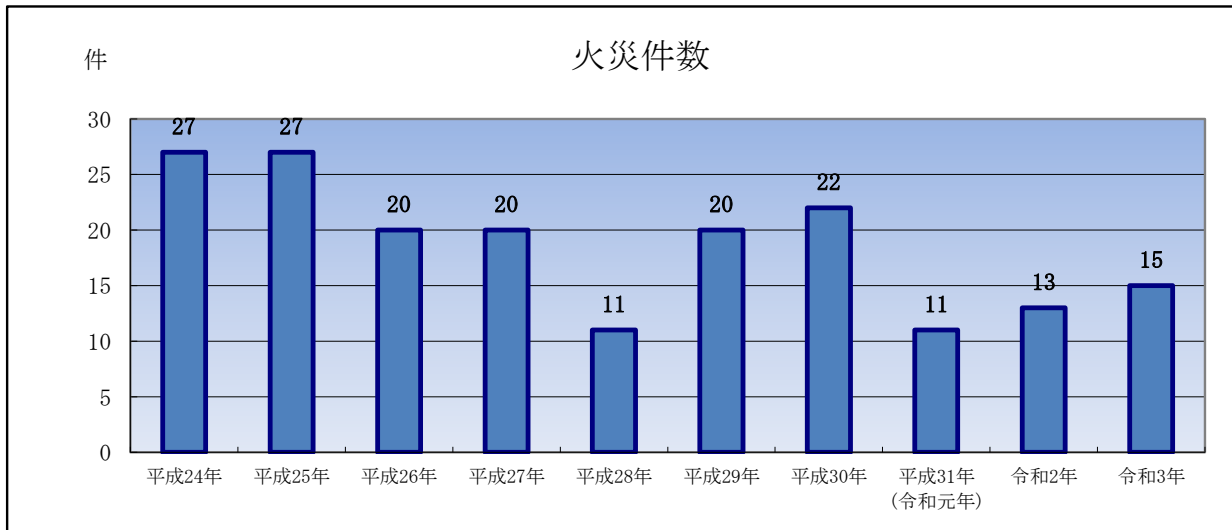
予 防



■年別火災状況

区分		年別									
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年
火災件数 (件)		27	27	20	20	11	20	22	11	13	15
損害額 (千円)		33,254	87,305	255,415	83,037	7,626	44,260	73,814	19,613	26,940	74,547
建物 火災	件数 (件)	13	10	8	9	5	6	16	4	6	8
	焼損面積 (㎡)	438	1,323	1,427	681	320	988	1,019	67	562	789
	1件当り 焼損面積 (㎡)	34	132	178	76	64	165	64	17	94	99
	損害額 (千円)	32,368	86,536	254,851	82,619	7,370	41,333	73,482	18,283	26,661	69,707
	1件当り損害額 (千円)	2,490	8,654	31,856	9,179	1,474	6,889	4,593	4,571	4,444	8,713
林野 火災	件数 (件)	2	3	3			1	1		1	1
	損害額 (千円)	216	15				1				
車両 火災	件数 (件)	3	2	4	1	2	2	1	1	3	2
	損害額 (千円)	670	665	530	370	256	2,926	325	1,210	249	372
その 火の 災他 の	件数 (件)	9	12	5	10	4	11	4	6	3	4
	損害額 (千円)		89	34	48			7	120	30	4,468
死傷 者	死者 (人)	4		1	2		1	5			
	負傷者 (人)	1	3	2	2	1			3	4	3

■火災件数、損害額、焼損面積の推移



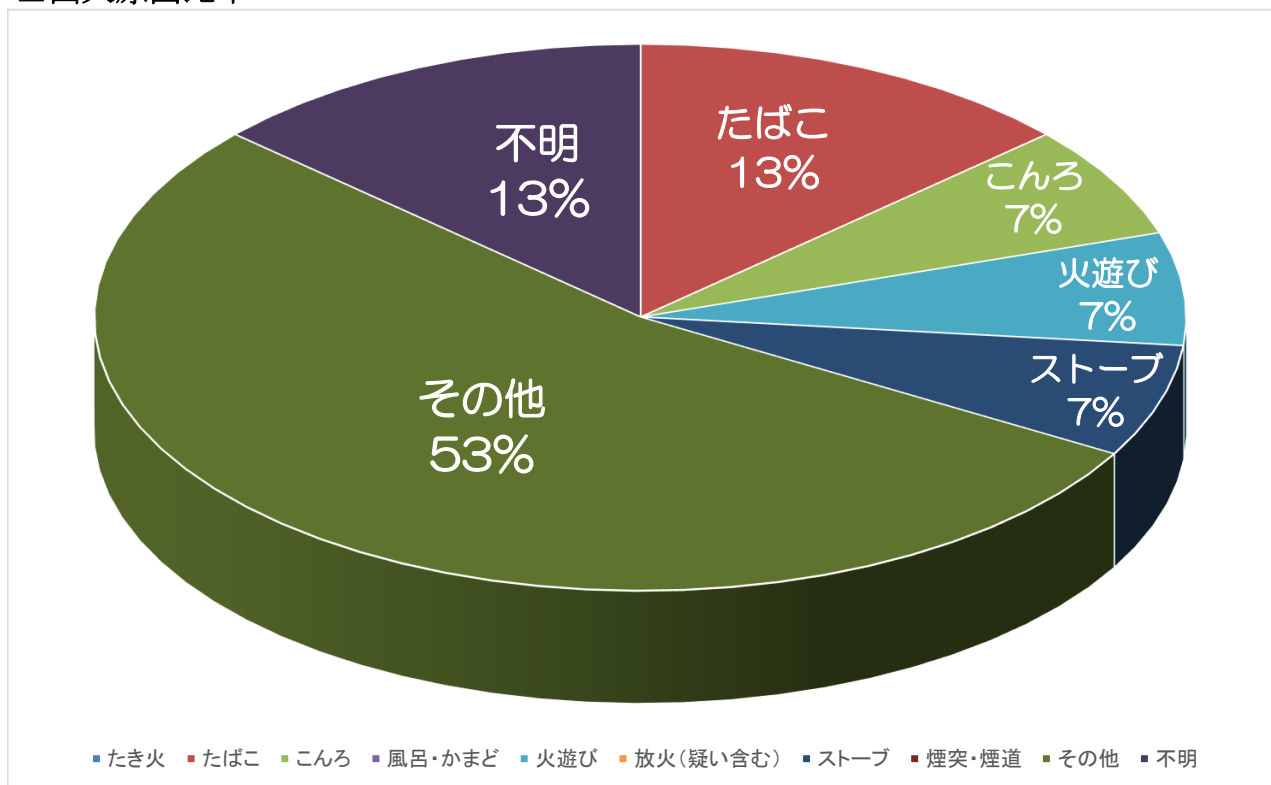
■年別地区別火災発生状況

地区名	年別	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年 (令和元年)	令和 2年	令和 3年
日吉台		1	2	1	1			1	1		
日吉倉		1	1	1			2	2			1
久能					1	2		1	2	2	2
大和				2			1	1			2
根木名		3	1			1	1			1	1
七栄		10	13	8	5	5	8	9	1	7	2
新橋							1				
中沢		1	2	2	2				2	1	
新中沢				1			1				
立沢			2	1			1	3			1
立沢新田											
高松					1		1	1			
高野								1			
十倉		5	4	3	5	3	3	2	5	2	4
御料		5	2		4			1			1
美沢											
東関道		1		1	1		1				1
合計		27	27	20	20	11	20	22	11	13	15

■年別出火原因別発生件数の推移

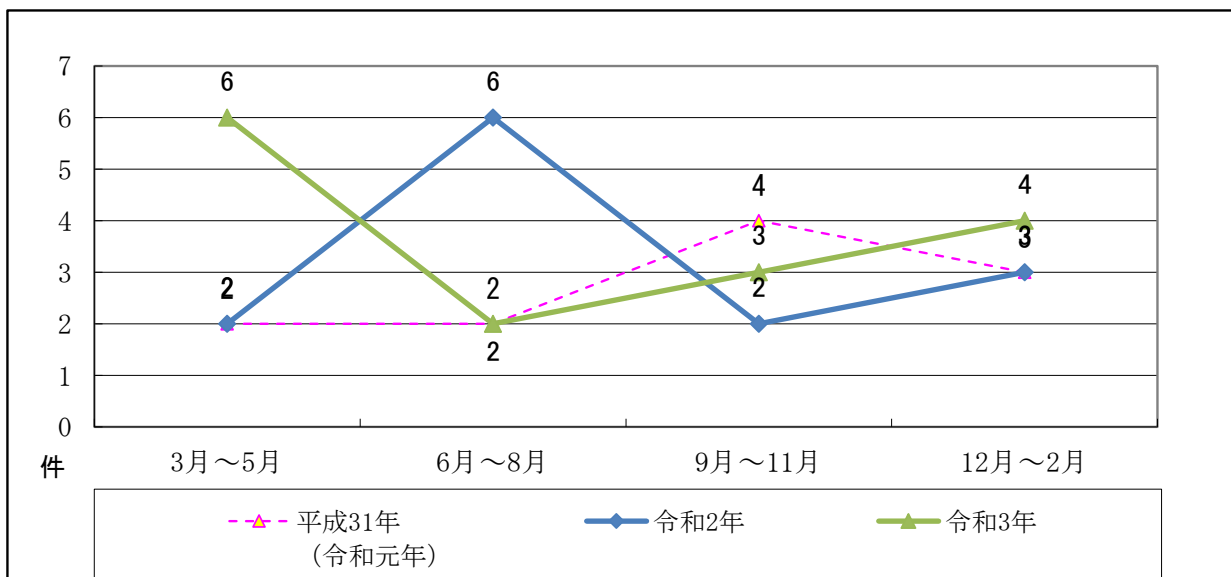
原因	年別									
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年
たき火	6	5	5	5	5	9	5	2		
たばこ		2	3			2	1	1	1	2
こんろ	3	1		1			4			1
風呂・かまど	1									
火遊び		2	1	1		1				1
放火(疑い含む)	4	6		1			1		2	
ストーブ	2							1		1
煙突・煙道										
その他	6	4	6	6	3	4	5	4	8	8
不明	5	7	5	6	3	4	6	3	2	2
合計	27	27	20	20	11	20	22	11	13	15

■出火原因比率



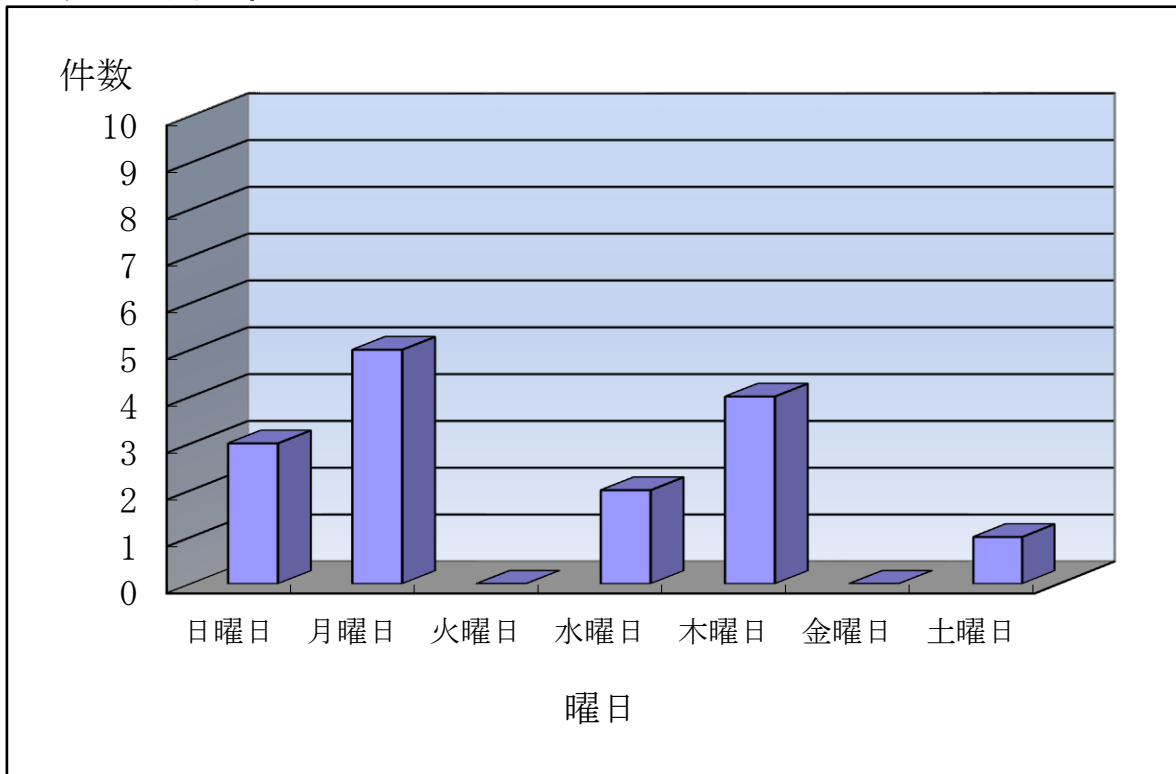
■年別季節別火災件数

季節別 年別	火災 件数	建物火災					その他の火災				
		小計	春	夏	秋	冬	小計	春	夏	秋	冬
			3月～ 5月	6月～ 8月	9月～ 11月	12月～2 月		3月～ 5月	6月～ 8月	9月～ 11月	12月～2 月
平成24年	27	13	1	3	3	6	14	3	5	4	2
平成25年	27	10	3	1	3	3	17	6	3	1	7
平成26年	20	8	1	1	2	4	12	2	4	2	4
平成27年	20	9	3	2	1	3	11	4	3	2	2
平成28年	11	5	1	1	1	2	6	3	1	1	1
平成29年	20	6	2	2	1	1	14	1	3	5	5
平成30年	22	16	4	5		7	6	2	2		2
平成31年 (令和元年)	11	4			3	1	7	2	2	1	2
令和2年	13	6	1	3	1	1	7	1	3	1	2
令和3年	15	8	4	1	2	1	7	2	1	1	3



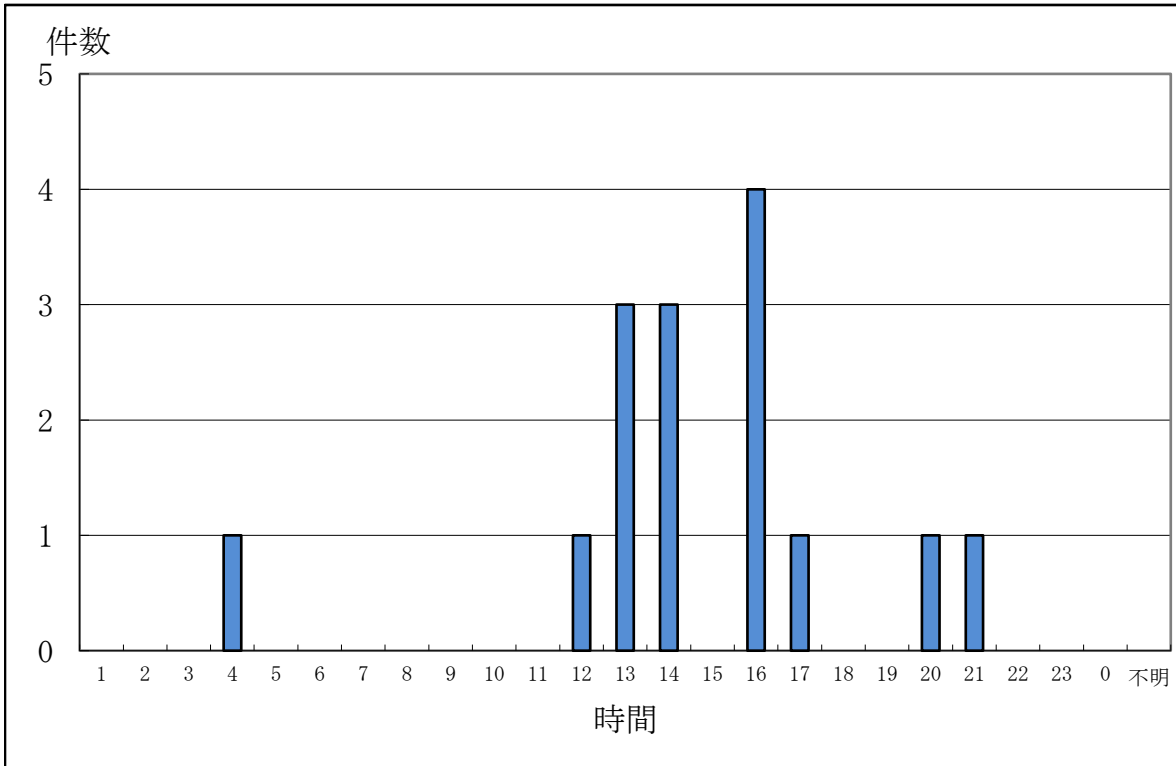
■曜日別出火状況

(令和3年)



■時間帯別出火状況

(令和3年)



■業態別防火対象物の総数

(令和4年4月1日現在)

項目	説明	階数	4階以下	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上	計
1	イ 劇場・観覧場		2							2
	ロ 公会堂・集会場		27							27
2	イ キャバレー・カフェ等									
	ロ 遊戯場・ダンスホール		4							4
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ カラオケボックス等		4							4
3	イ 待合・料理店		1							1
	ロ 飲食店		61							61
4	マーケット等		110							110
5	イ 旅館・ホテル		19	3	1	1			1	25
	ロ 寄宿舎・共同住宅		273	4	1	1		2	4	285
6	イ 病院・診療所		20	1						21
	ロ 老人短期入所施設等		19							19
	ハ 老人デイサービス等		50	1						51
	ニ 幼稚園・養護学校		9							9
7	小中高等学校		26							26
8	図書館・博物館		1							1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場									
	ロ イに揚げる以外の公衆浴場		3							3
10	停車場・発着場									
11	神社・寺院		5							5
12	イ 工場・作業場		96							96
	ロ 映画・テレビスタジオ									
13	イ 車庫・駐車場		24							24
	ロ 格納庫									
14	倉庫		226	1	1					228
15	前各項に該当		241							241
16	イ 特定対象物が存する複合対象物		100	4	1				1	106
	ロ イに揚げる以外の複合対象物		19							19
16の2	地下街									
16の3	準地下街									
17	文化財									
18	アーケード									
19	山林									
20	舟車									
合計			1,340	14	4	2		2	6	1,368

■年度別予防関係届出件数

届出別	年度										
	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 (令和元年)	令和 2年度	令和 3年度	
防火対象物届	44	34	42	41	46	43	97	44	32	43	
消防設備等届	28	31	73	48	49	35	27	30	37	27	
消防設置等届	112	100	134	135	136	112	106	107	119	116	
変電設備等届	18	21	30	23	11	11	10	7	12	11	
炉・かまど・ボイラー等設置届	7	8	20	4	3	10	1	16	2		
ネオン管灯設備設置届											
消防用設備等点検結果報告書届	225	250	259	307	261	301	290	314	331	340	
防火対象物点検結果報告書届	17	23	20	22	24	28	29	25	29	30	
消防計画届	59	54	79	64	72	94	86	74	67	95	
防火管理者選解任届	64	59	79	80	80	98	97	76	57	86	
合計	574	580	736	724	682	732	743	693	686	748	

■年度別建築同意件数

区分	年度										
	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 (令和元年)	令和 2年度	令和 3年度	
新築	61	69	53	56	54	40	27	43	38	33	
増築	4	1	1	2	4	1	3	1	11	5	
改築											
移転											
修繕											
模様替											
用途変更	2		1	3	2		2		2	1	
その他	1	1	3	1	2					1	
合計	68	71	58	62	62	41	32	44	51	40	

■用途別消防用設備等設置状況

(令和4年4月1日現在)

項目	設備の種類 説明	防火対象物数	消 火 設 備				警 報 設 備				避難設備		そ の 他				
			消 火 器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	特殊固定消火設備	屋外消火栓設備	自動火災報知設備	ガス漏れ警報設備	漏電火災警報器	非常警報設備	火災報知設備等	避難器具	誘導灯等	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント
1	イ 劇場・観覧場	2	2	1				1			1	1					
	ロ 公会堂・集会場	27	16	1				5			4	4		20			
2	イ キャバレー・カフェ等																
	ロ 遊戯場・ダンスホール	4	4	3				4			4	4	1	4			
	ハ 性風俗関連特種営業店舗等																
	ニ カラオケボックス等	4	2					2						2			
3	イ 待合・料理店	1	1					1						1			
	ロ 飲食店	61	43					9			26	1	2	53			
4	マーケット等	110	108	10	4	2		55			20	37	1	80			
5	イ 旅館・ホテル	25	18	3	2	2		23	1		5	15	7	19		2	1
	ロ 寄宿舎・共同住宅	285	264	5	1	4		71		3	12	26	45	21		7	3
6	イ 病院・診療所	21	19		1			9		1	2	4	4	20			
	ロ 老人短期入所施設等	19	19	1	18			23			3	17	5	26			
	ハ 老人デイサービス等	51	31	2				22			3	10	2	41			
	ニ 幼稚園・養護学校	9	8	1				7			3	3	1	9			
7	小中高等学校	26	23	15				22			16	20	11				
8	図書館・博物館	1	1	1				1			1	1	1	1			
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場																
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場	3	2					1				1	1	3			
10	停車場・発着場																
11	神社・寺院	5	3								2			1			
12	イ 工場・作業場	96	89	21			9	59			1	39	2	27			
	ロ 映画・テレビスタジオ																
13	イ 車庫・駐車場	24	1					1				1					
	ロ 格納庫																
14	倉庫	228	89	30	4		5	69			1	29	4	41		2	
15	前各号に該当しない事業場	241	93	6				39			9	16	13	38			
16	イ 特定対象物が存する複合対象物	106	84	4	4	1		70	1		18	11	49	92		1	1
	ロ イに掲げる以外の複合対象物	19	11	1	1		1	1			4		4	9			
16の2	地下街																
16の3	準地下街																
17	文化財																
18	アーケード																
19	山林																
20	舟車																
合 計		1,368	931	105	35	9	15	495	2	4	135	240	153	509		12	5

■年度別危険物施設許認可受理件数

区分	年度									
	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 (令和元年)	令和 2年度	令和 3年度
設置許可	3	6	1	1	1	1		1		
変更許可	10	8	2	3	5	4	7	6	9	2
設置完成検査	2	6	1	1		2		1		
変更完成検査	10	7	2	3	5	4	7	6	9	2
仮使用承認	9	4	2	1	4	3	4	5	3	2
水圧検査	5	5	2			1				
水張検査	3	2	4	3	2	6		2	4	13
仮貯蔵（取扱）承認										
廃止	4	9	7	3	3		2	2	2	1
合計	46	47	21	15	20	21	20	23	27	20

■年度別危険物施設数

区分	年度									
	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 (令和元年)	令和 2年度	令和 3年度
事業所数	67	61	58	55	55	55	54	52	51	50
製造所（A）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	11	13	13	13	13	13	13	13	13
	屋外タンク貯蔵所	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	屋内タンク貯蔵所	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	地下タンク貯蔵所	29	28	25	25	25	25	25	24	22
	簡易タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所	18	17	12	8	6	6	5	6	7
	屋外貯蔵所									
小計（B）	61	61	53	49	47	47	46	46	45	44
取扱所	給油取扱所	33	29	29	28	28	29	28	27	27
	販売取扱所									
	移送取扱所									
	一般取扱所	9	8	7	7	7	7	7	7	7
	小計（C）	42	37	36	35	35	36	35	34	34
総計（A+B+C）	104	99	90	85	83	84	82	81	80	79

第14回防火ポスター展受賞作品一覧



富里市長賞
富里小学校
6年 寺井梨結さん



富里市消防長賞
日吉台小学校
5年 小笠原 幸花さん



富里市危険物安全協会会長賞
富里南小学校
6年 山野 琴葉さん



富里市危険物安全協会
設立40周年記念特別賞
日吉台小学校
6年 浦澤 知奈さん



富里市危険物安全協会
設立40周年記念特別賞
富里小学校
5年 二反田 莉子さん



富里市危険物安全協会
特別賞
浩養小学校
1年 丸山 凜さん



一般社団法人千葉県
危険物安全協会連合会長賞
七栄小学校
5年 藤波 ゆららさん

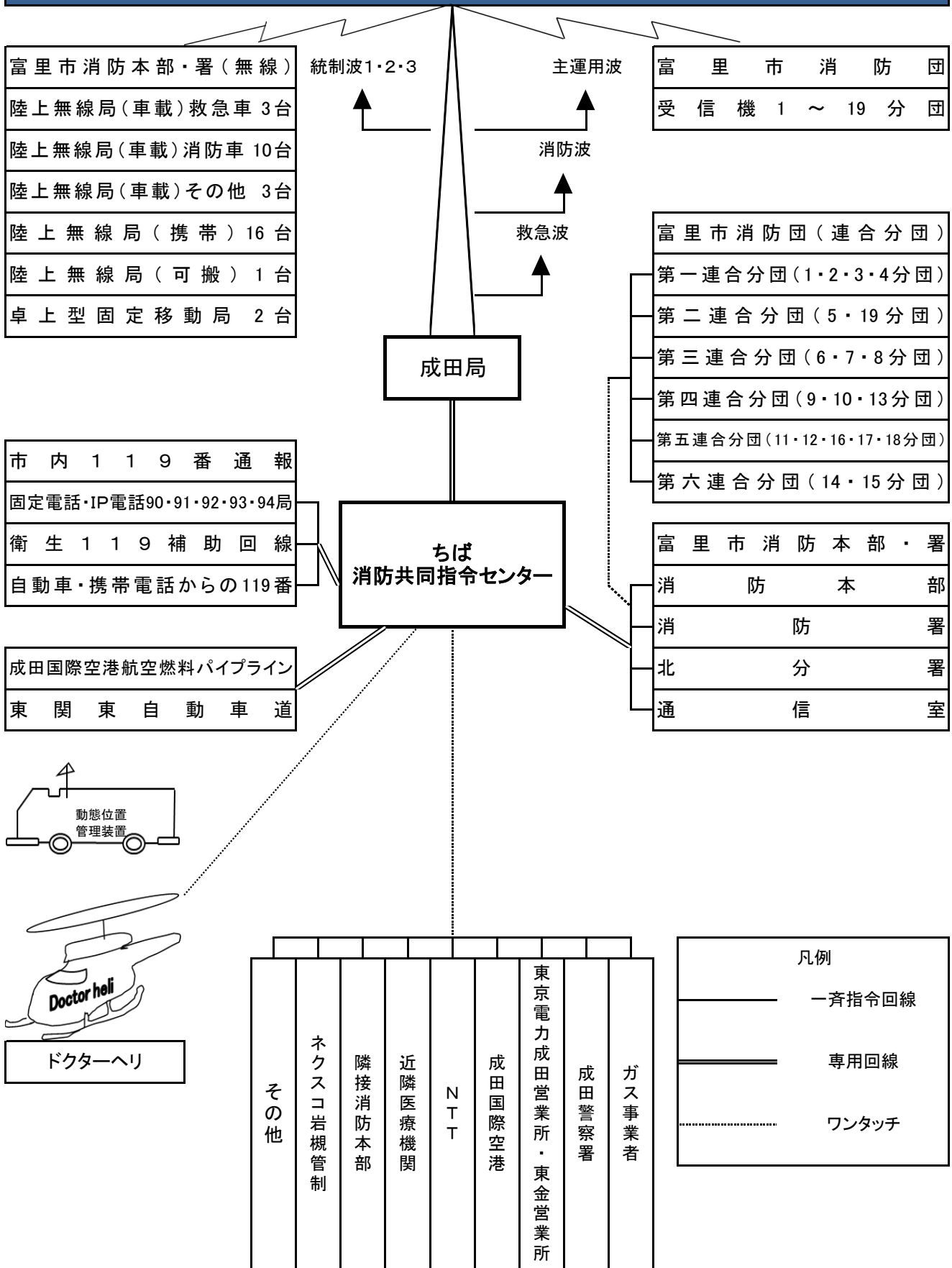


一般社団法人千葉県
消防設備協会会長賞
日吉台小学校
2年 寺嶋 慶乃さん

通信



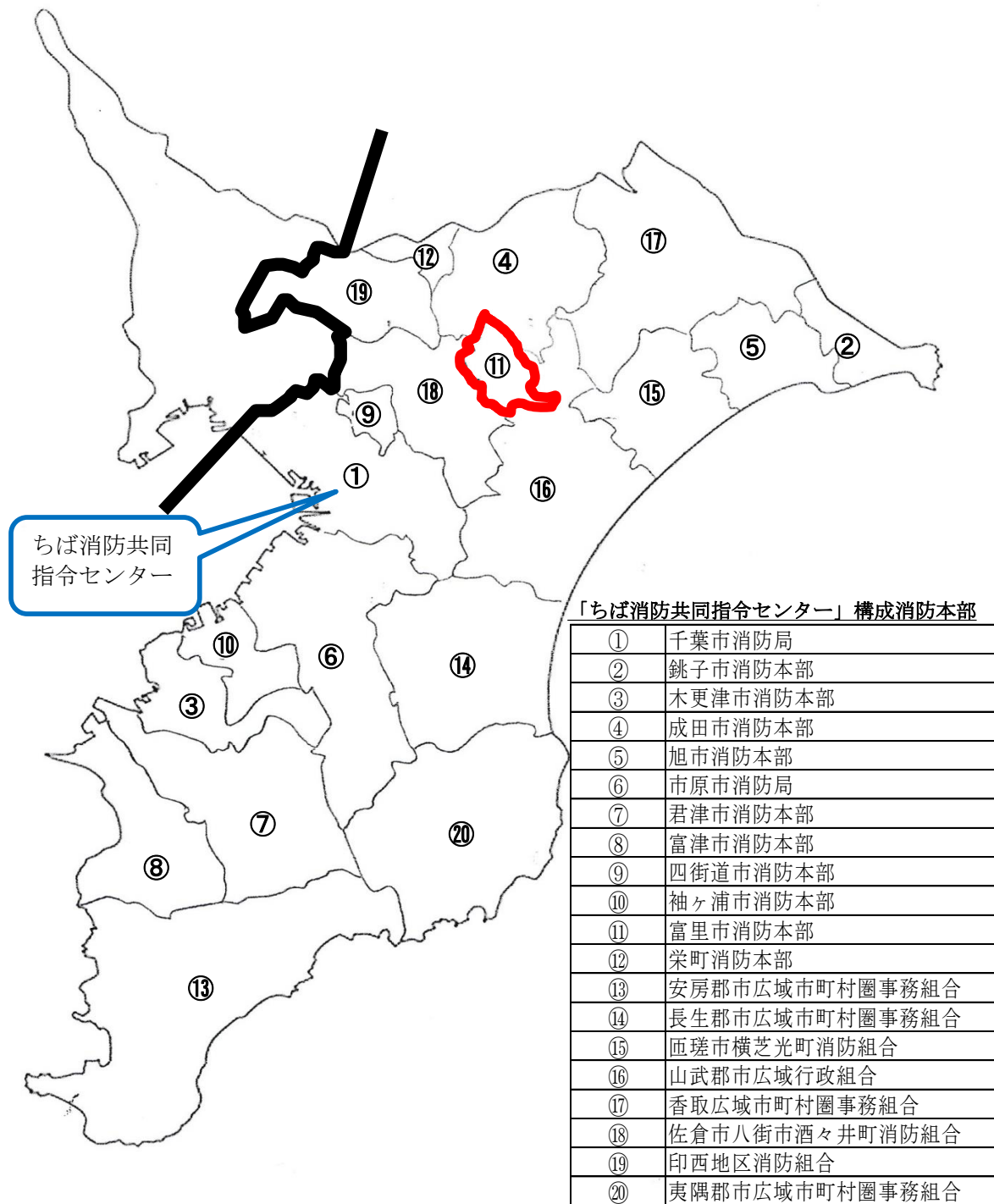
通信指令系統図



■ちば消防共同指令センターの概要

「ちば消防共同指令センター」は千葉県北東部・南部の20消防本部の119番通報の受信や、消防車や救急車の無線管制等の通信指令業務の運用を共同で行います。

共同運用を行うことで業務の効率化が図られるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制が充実強化されます。



■災害等通報件数

(令和3年)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年	前年比	増減率 (%)
災害	火災	5	2	0	2	3	0	1	1	2	3	0	2	21	15	6	40.0%
	救急	159	123	123	131	147	124	159	193	174	174	136	164	1,807	1,645	162	9.8%
	救助	1	3	2	2	1	2	0	3	0	4	1	0	19	14	5	35.7%
	その他災害	21	18	23	29	23	18	27	18	19	21	37	24	278	191	87	45.5%
	火続災報	8	0	0	7	9	0	2	3	3	10	0	4	46	14	32	228.6%
	救続急報	10	5	4	8	1	3	7	1	3	3	1	3	49	45	4	8.9%
	救続助報	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	-1	-50.0%
	その他続報	7	2	2	5	2	5	3	2	4	2	4	4	42	32	10	31.3%
	小計	211	153	155	184	186	152	199	221	205	217	179	201	2,263	1,958	305	15.6%
問い合わせ	火間災合	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	-1	-50.0%
	救間急合	0	0	1	0	3	1	2	2	1	1	4	0	15	19	-4	-21.1%
	病間院合	11	2	7	7	10	6	11	11	10	2	5	11	93	95	-2	-2.1%
	その他問合	4	2	4	0	3	3	9	10	11	10	5	2	63	60	3	5.0%
	小計	15	5	12	7	16	10	22	23	22	13	14	13	172	176	-4	-2.3%
その他	いたずら	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	8	-5	-62.5%
	その他	4	5	2	2	4	1	1	2	5	3	10	3	42	21	21	100.0%
	無音	11	8	13	11	9	12	9	10	12	18	10	9	132	122	10	8.2%
	間違い	13	10	8	16	6	17	16	15	19	11	17	10	158	129	29	22.5%
	119試験	3	7	10	0	8	1	1	1	7	1	5	1	45	51	-6	-11.8%
	FAX転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0.0%
	転送	0	0	0	1	2	0	1	1	0	4	0	1	10	12	-2	-16.7%
	小計	32	30	33	30	29	31	28	30	43	39	42	24	391	344	47	13.7%
計	258	188	200	221	231	193	249	274	270	269	235	238	2,826	2,478	348	14.0%	

119番受付時の口頭指導件数						
心肺蘇生法	AED	止血・指趾切断手当	固定処置	体位管理	その他手当	合計
102	0	119	0	29	11	261

■無線配置表

施設名	数	呼出名称	配置場所	型式	種別
遠隔制御	1	遠制富里消防	通 信 室	無線遠隔制御装置	
卓 上 無線局	2	富里501	通 信 室	JEZ-1920-A	
		富里北501	北 分 署	JEZ-1920-A	
移動局	15	富里本部司令1	本 部	JDC4H1A1-1D	公用車
		富里本部予防1	本 部	JDC4H1A1-1D	査察車
		富里本部広報1	本 部	JDC4H1A1-1D	指揮広報車
		富里本部連絡1	本 部	JDC4H1A1-1D	連絡車
		富里本部資機材	消 防 署	JDC4H1A1-1D	資機材搬送車
		富里指揮1	消 防 署	JDC4H1A1-1D	指揮車
		富里指揮2	消 防 署	JDC4H1A1-1D	指揮車
		富里水槽1	消 防 署	JDC4H1A1-1D	水槽車
		富里化学1	消 防 署	JDC4H1A1-1D	化学車
		富里救助1	消 防 署	JDC4H1A1-1D	救工車
		富里救急1	消 防 署	JDC4H1A1-1D	救急車
		富里救急2	消 防 署	JDC4H1A1-1D	救急車
		富里北水槽1	北 分 署	JDC4H1A1-1D	水槽車
		富里北ポンプ1	北 分 署	JDC4H1A1-1D	ポンプ車
		富里北救急1	北 分 署	JDC4H1A1-1D	救急車
携帯局	17	富里191	消 防 署	NE2-5M010	救急隊
		富里192	消 防 署	NE2-5M010	救急隊
		富里101	消 防 署	JDT4C3A1-3B	指揮隊
		富里102	消 防 署	NE2-5M010	指揮隊
		富里111	消 防 署	NE2-5M010	救助隊
		富里112	消 防 署	NE2-5M010	救助隊
		富里113	消 防 署	NE2-5M010	救助隊
		富里114	消 防 署	NE2-5M010	救助隊
		富里115	消 防 署	NE2-5M010	救助隊
		富里121	消 防 署	NE2-5M010	消防隊
		富里122	消 防 署	NE2-5M010	消防隊
		富里123	消 防 署	NE2-5M010	消防隊
		富里291	北 分 署	NE2-5M010	救急隊
		富里211	北 分 署	NE2-5M010	消防隊
		富里212	北 分 署	NE2-5M010	消防隊
		富里213	北 分 署	NE2-5M010	消防隊
		富里214	北 分 署	NE2-5M010	消防隊

■月別気象状況

観測場所：富里市七栄735-2（富里市消防本部）

（令和3年）

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速・風向 (m/s)			降水量 (mm)		天候日数 (12時調べ)			
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	平均	風最多	月計	累計	晴	曇	雨	雪
1月	17.3	-5.1	4.7	95.0	11.0	54.5	25.4	2.2	北西	23.0	23.0	20	8	3	
2月	21.1	-5.3	7.7	98.0	19.0	45.5	22.7	2.4	西北西	73.0	96.0	24	3	1	
3月	22.1	0.9	11.8	88.8	18.0	60.7	13.3	2.7	西北西	137.0	233.0	18	10	3	
4月	25.4	5.6	15.5	75.0	9.0	42.0	18.1	2.6	北北東	117.0	350.0	19	9	2	
5月	28.3	10.0	19.2	95.0	18.0	70.1	18.6	2.0	南東	92.0	442.0	14	13	4	
6月	31.3	14.7	21.7	84.0	26.0	76.2	13.1	3.3	東北東	100.5	542.5	10	15	5	
7月	33.8	19.1	25.1	100.0	39.0	81.8	29.7	1.4	南南西	280.0	822.5	18	7	6	
8月	35.3	20.6	26.4	97.0	39.0	74.6	18.8	1.8	南	317.0	1,139.5	18	9	4	
9月	32.2	16.0	24.1	94.0	42.0	68.0	14.0	2.8	北北東	113.0	1,252.5	8	15	7	
10月	29.7	5.3	17.6	94.3	26.0	75.4	25.2	2.8	北	193.5	1,446.0	17	10	4	
11月	21.4	1.6	13.1	89.0	24.0	67.1	17.8	2.6	北北西	95.0	1,541.0	22	6	2	
12月	20.0	-3.6	7.1	91.0	13.0	59.7	21.7	2.8	北北西	133.5	1,674.5	24	4	3	
年間	35.3	-5.3	16.2	100.0	9.0	64.6	29.7	2.5			1,674.5	212	109	44	

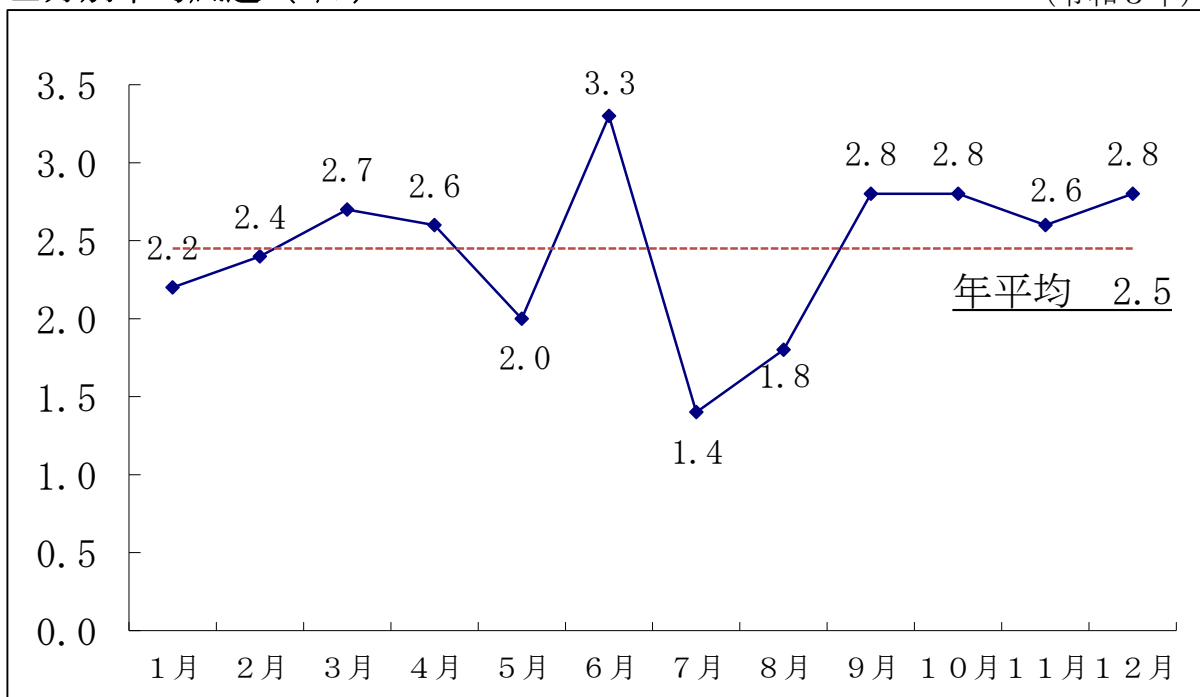
■ 気象情報発令状況

(令和3年)

種 別	月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	警 報	大 雨								2					
洪 水									1						1
暴 風												1			1
大 雪															
注 意 報	大 雨		1	2	3	2	3	8	5	4	2	1	3	34	
	洪 水							3	1		1			5	
	強 風	18	6	6	4	4	2	2	3	2	3	3	3	56	
	乾 燥	37	3	5	5	3					2	4	5	64	
	低 温														
	雷	3	3	6	8	10	13	8	13	9	6	5	6	90	
	霜			5	9									14	
	濃 霧	5		3		11	8	14	8	6	11	5	3	74	
	大 雪	1												1	
	風 雪														
着 氷 雪	1													1	
情 報	火災気象通報	41	6	12	9	7		2	19	3	3	6	8	116	
	台 風							9	8	8	5			30	
	地 震		7	11	2	4	1	2	2	8	2	5	3	47	
	そ の 他		4	5	13	9	4	10	28	20	8	16	7	124	
合 計		106	30	55	53	50	31	61	87	60	44	45	38	660	

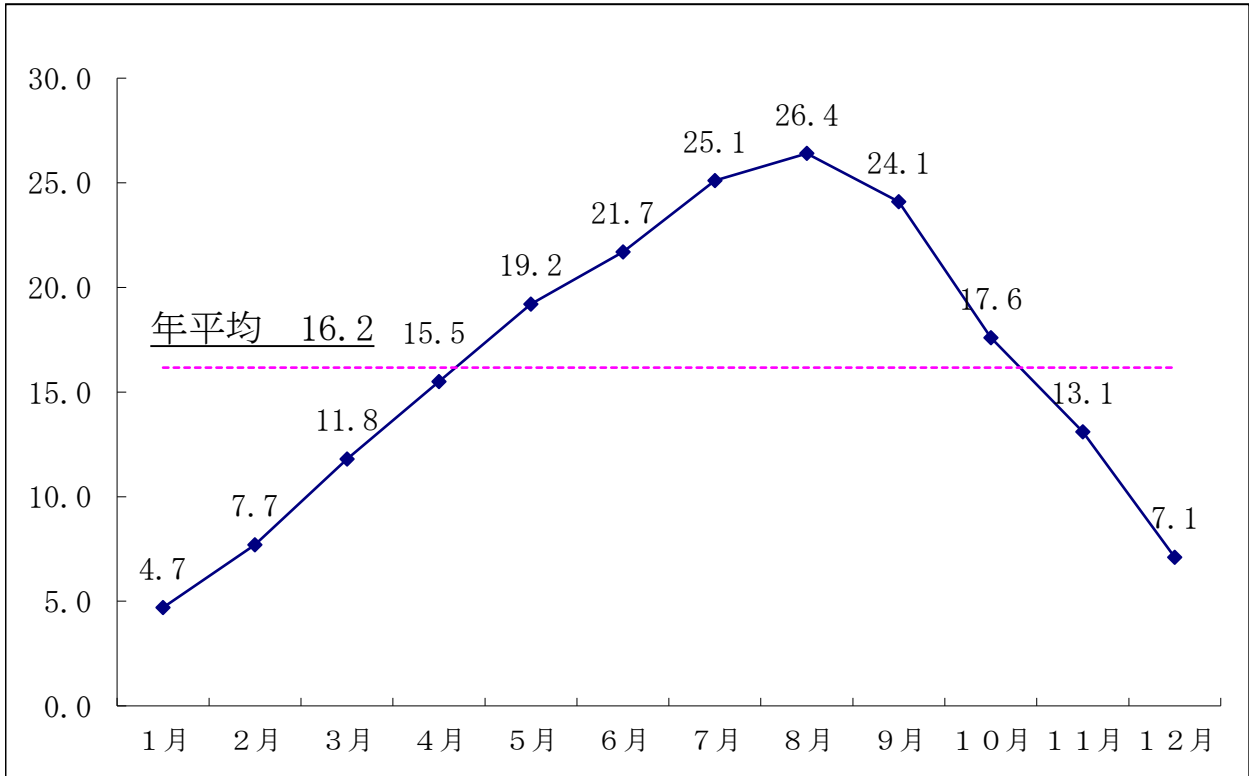
■ 月別平均風速 (m/s)

(令和3年)



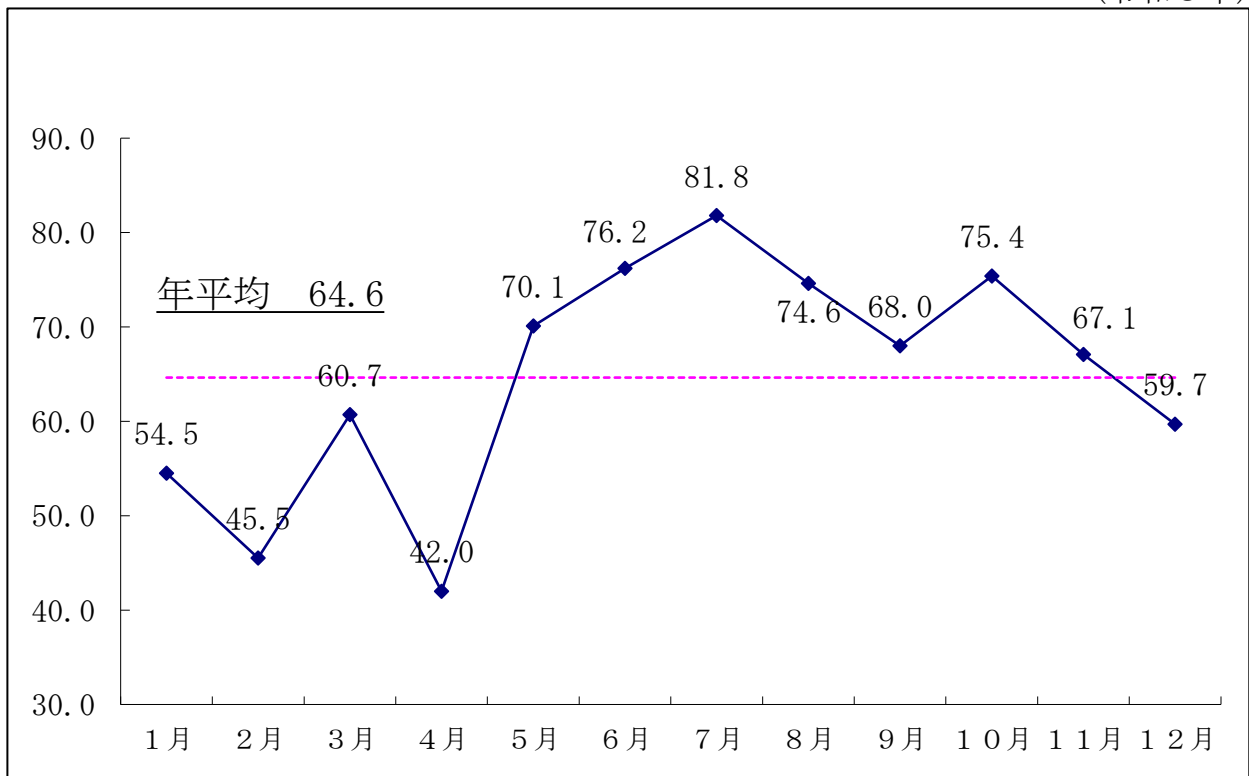
■月別平均気温 (°C)

(令和3年)



■月別平均湿度 (%)

(令和3年)

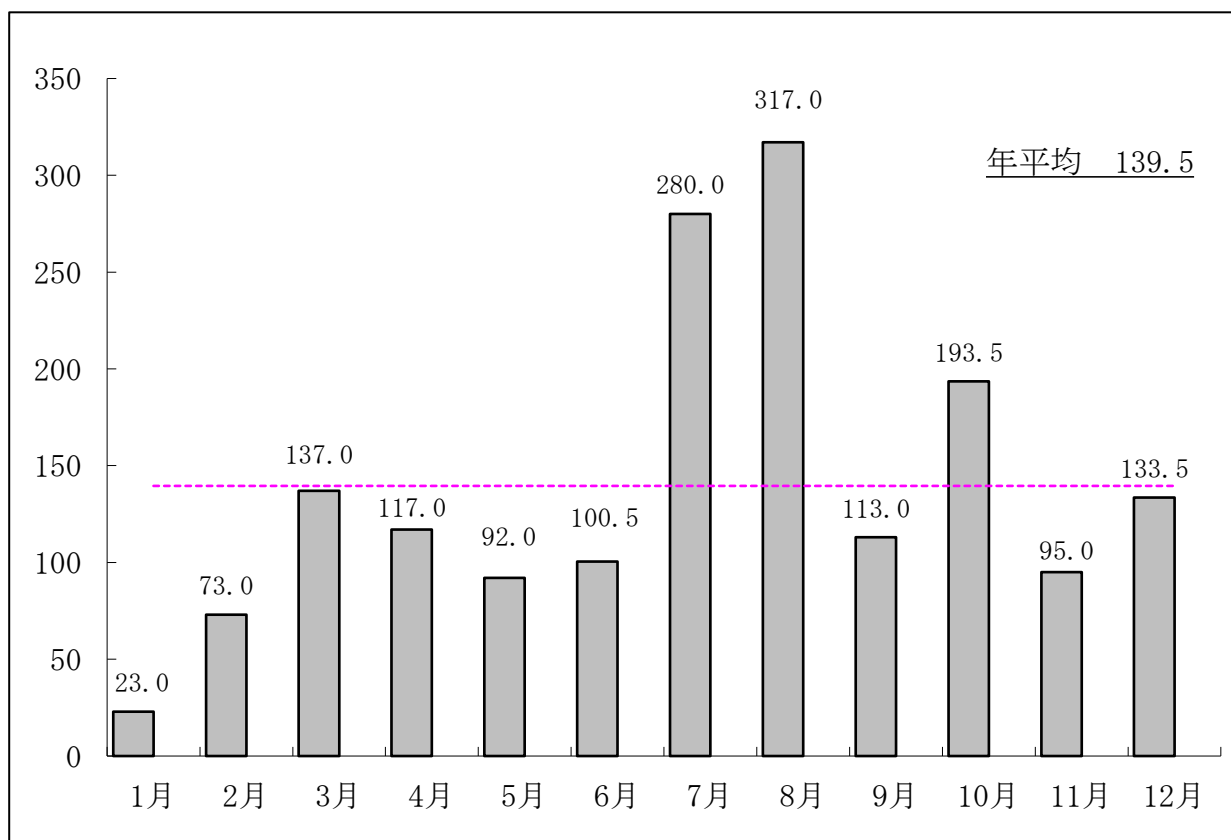


■年別月別降水量 (mm)

年 月	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年
1月	88.0	60.5	60.5	12.5	125.5	23.0
2月	53.5	31.5	20.5	54.0	34.0	73.0
3月	116.0	107.5	197.5	84.5	122.5	137.0
4月	108.0	107.5	76.0	90.5	224.0	117.0
5月	120.5	63.0	156.5	115.5	114.0	92.0
6月	111.5	44.0	180.0	186.5	185.0	100.5
7月	23.5	78.0	98.5	203.0	225.0	280.0
8月	391.0	126.0	29.5	61.5	5.0	317.0
9月	268.5	206.5	219.0	170.5	132.0	113.0
10月	92.0	436.5	63.5	420.5	178.0	193.5
11月	149.0	64.0	46.0	170.0	17.5	95.0
12月	61.0	19.5	36.5	101.0	21.0	133.5
合計	1,582.5	1,344.5	1,184.0	1,670.0	1,383.5	1,674.5

■月別降水量 (mm)

(令和3年)

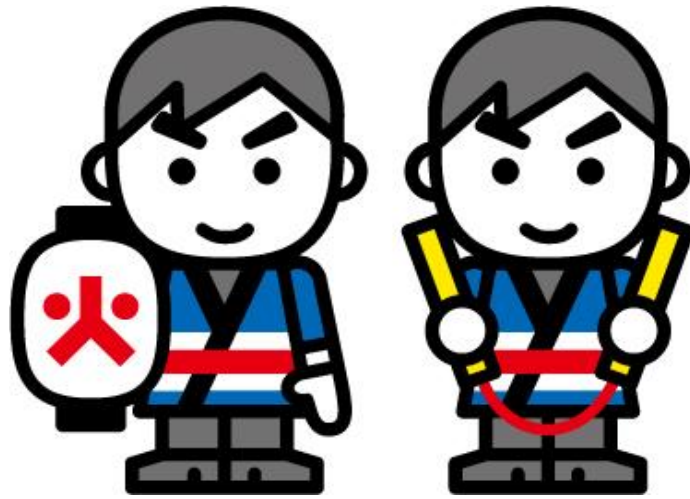


■降水量日計表 (mm)

(令和3年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日					6.0	6.0	42.5		7.0	81.5	2.5	51.5
2日		15.0	15.0				102.0		12.0	7.0		1.5
3日						1.0	51.0		7.0			
4日			0.5	30.0		7.5	16.5		21.0			
5日			0.5	11.0	2.5		1.0		6.5			
6日			0.5		5.0	2.0			3.0			
7日					1.5			2.0				10.0
8日			13.5	8.5			4.0	127.5				40.0
9日				1.5			1.5		10.5	1.5	56.5	
10日									1.0	0.5		
11日							1.5		1.5			
12日	3.0							7.5				
13日			64.5	1.5	3.0		22.0	14.5		13.5		
14日				7.5		3.0		43.5	6.5	0.5		2.5
15日	1.0	58.0		2.5			3.5	79.5	2.0			
16日												
17日				10.5				1.0		21.0		21.5
18日				2.5	1.0				24.0			
19日					16.5	7.0			4.0	2.5		
20日					8.5	28.0				2.5		
21日			17.0		3.0	5.0					6.0	
22日			2.5							11.5	29.0	
23日	9.5				2.5			14.5				
24日						3.0						
25日			2.0							14.0		6.5
26日										30.5		
27日	2.0				30.0		25.0			1.0		
28日	7.5		3.0			5.5	9.5			5.0		
29日			18.0	41.5		31.5			1.0			
30日		/				1.0			6.0		1.0	
31日		/		/	12.5	/		27.0	/	1.0	/	
合計	23.0	73.0	137.0	117.0	92.0	100.5	280.0	317.0	113.0	193.5	95.0	133.5
年間総降水量										1,674.5	mm	

消防団



■消防団管轄区域及び階級別実数

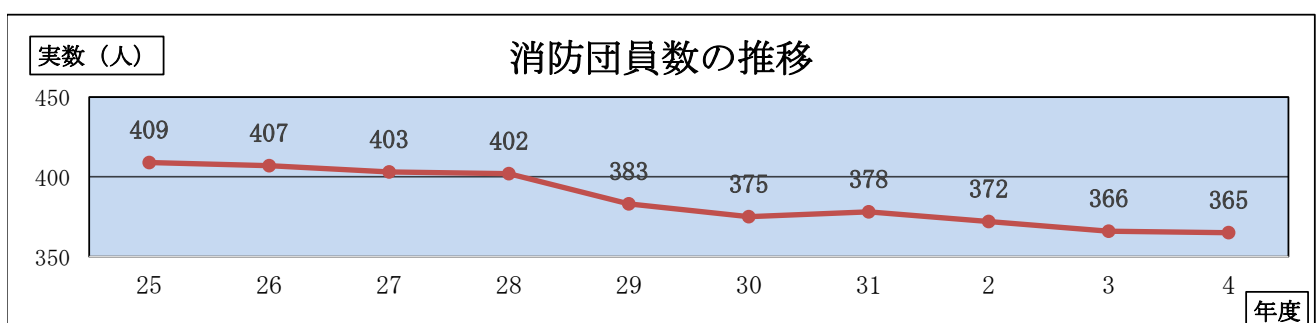
(令和4年4月1日現在)

	分団名	地区名	階級別							実員	
			団長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部長	班長		団員
	団本部	全域	1	4	5						10
分第1連 団合	第1分団	日吉倉・日吉倉新田				1	1	3	5	9	19
	第2分団	久能				1	1	3	5	4	14
	第3分団	大和				1	1	1	2	1	6
	第4分団	根木名				1	1	3	5	9	19
分第2連 団合	第5分団	七栄				1	1	3	5	35	45
	第19分団	大和台				1	1	3	5	2	12
分第3連 団合	第6分団	新橋				1	1	3	5	5	15
	第7分団	中沢				1	1	3	5	11	21
	第8分団	立沢・太木				1	1	3	5	8	18
分第4連 団合	第9分団	四区・三重掘 高松・高松入				1	1	3	5	15	25
	第10分団	高野				1	1	3	5	5	15
	第13分団	実の口・金堀・吉川				1	1	3	5	11	21
分第5連 団合	第11分団	両国・旭				1	1	3	5	7	17
	第12分団	大堀				1	1	3	5	4	14
	第16分団	武州・旧平				1	1	3	5	14	24
	第17分団	宮内				1	1	3	5	4	14
	第18分団	葉山				1	1	3	5	7	17
分第6連 団合	第14分団	二区				1	1	3	5	9	19
	第15分団	三区				1	1	3	5	10	20
合計			1	4	5	19	19	55	92	170	365

■消防団員数の推移

(各年度4月1日現在)

年度	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4
定数	430	430	430	430	430	430	430	430	430	430
実数	409	407	403	402	383	375	378	372	366	365



■消防団員年齢別階級

(令和4年4月1日現在)

年齢	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	総数
		1	4	24	19	55	92	170	365
18歳								1	1
19歳									
20歳							1	1	2
21歳								2	2
22歳						1		2	3
23歳									
24歳							2	1	3
25歳							1	3	4
26歳							1	4	5
27歳						1		2	3
28歳						1		2	3
29歳						2	5		7
30歳							2	5	7
31歳					1	2	2	2	7
32歳				1			3	3	7
33歳					1	3	1	3	8
34歳				1	1	1	1	6	10
35歳					2	3	8	4	17
36歳				3	1	5	3	6	18
37歳				1	2	5	4	7	19
38歳				1	2	1	2	6	12
39歳							2	7	9
40歳				1	1	5	4	10	21
41歳					2	1	2	5	10
42歳				1		1	4	8	14
43歳				2		3	3	11	19
44歳						1	4	5	10
45歳				1		2	5	6	14
46歳				1		1	4	7	13
47歳				3	1	1	6	8	19
48歳				1			1	2	4
49歳					1	3	4	7	15
50歳				1				5	6
51歳						2	2	4	8
52歳				2		1	1	2	6
53歳					2	2	4	2	10
54歳						1	2	1	7
55歳				1			2	1	4
56歳					1	1		1	4
57歳				1	1	2	1	6	11
58歳								4	4
59歳								1	1
60歳				1		2		2	5
61歳以上		1			1	1	5	5	13
年齢平均							41.5歳		

■消防団詰所及び機庫の状況

(令和4年4月1日現在)

施設名	所在地	構造	床面積	配置車両	設置年月
第1分団消防機庫兼詰所	日吉倉482-1	鉄骨造2階	90.7 m ²	ポンプ車	昭和50年5月
第2分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	久能552-3	鉄骨造2階	66.2 m ²	積載車	平成7年2月
第3分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	大和428-1	鉄骨造2階	63.0 m ²	積載車	平成13年3月
第4分団消防機庫兼詰所	根木名537-1	鉄骨造2階	68.8 m ²	積載車 (全自動水槽付)	昭和55年3月
第5分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	七栄448-27	鉄骨造2階	187.0 m ²	タンク車 積載車	平成7年3月
第6分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	新橋818	鉄骨造2階	66.2 m ²	積載車	平成9年3月
第7分団消防機庫兼詰所	美沢37-1	鉄骨造1階	82.81 m ²	タンク車	平成27年5月
第8分団消防機庫兼詰所	立沢818	鉄骨造2階	49.5 m ²	ポンプ車	昭和47年9月
第9分団消防機庫兼詰所	十倉190-23	鉄骨造2階	68.2 m ²	ポンプ車	昭和52年9月
第10分団消防機庫兼詰所	高野572-1	鉄骨造2階	64.8 m ²	積載車	昭和55年11月
第11分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	十倉1322-2	鉄骨造2階	66.2 m ²	積載車 (全自動)	平成14年3月
第12分団消防機庫	十倉312	鉄骨造1階	28.9 m ²	積載車 (全自動)	昭和46年6月
第13分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	十倉43-1	鉄骨造2階	89.4 m ²	タンク車	平成12年3月
第14分団消防機庫兼詰所	十倉734-1	鉄骨造2階	57.9 m ²	ポンプ車	昭和58年12月
第15分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	十倉612-15	鉄骨造2階	66.2 m ²	積載車 (全自動水槽付)	平成14年3月
第16分団消防機庫兼詰所	十倉296-1	鉄骨造1階	64.8 m ²	タンク車	昭和50年3月
第17分団消防機庫兼詰所	御料455-1	鉄骨造2階	57.9 m ²	積載車 (全自動水槽付)	昭和51年12月
第18分団消防機庫兼詰所 (コミュニティ消防センター)	御料1005-14	鉄骨造2階	69.4 m ²	積載車	平成11年3月
第19分団消防機庫兼詰所	大和717-1	鉄骨造1階	57.9 m ²	ポンプ車	平成22年3月

■消防団車両ポンプ一覧表

(令和4年4月1日現在)

配置先	呼称	型別	車名 (メーカー)	ポンプ 級別	初年度登録	購入先
第1分団	消防ポンプ自動車	BD-I	トヨタ	A2	H10.10.1	日本機械工業(株)
第2分団	小型動力ポンプ積載車		トヨタ		H25.11.27	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H25.11.27	大成産業(株)
第3分団	小型動力ポンプ積載車		トヨタ		H10.3.19	日本造機(株)
	小型動力ポンプ		富士ロビン	B2	H2.8.2	(株)清水商会
第4分団	小型動力ポンプ全自動水槽付積載車		日野		H26.11.28	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H26.11.28	大成産業(株)
第5分団	水槽付消防ポンプ自動車	I-A	いすゞ	A2	H8.11.15	日本機械工業(株)
	小型動力ポンプ積載車		ニッサン		H15.2.26	日本機械工業(株)
	小型動力ポンプ		富士ロビン	B2	H15.2.26	(株)清水商会
第6分団	小型動力ポンプ積載車		ニッサン		H23.11.14	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H23.11.14	大成産業(株)
第7分団	水槽付消防ポンプ自動車	I-A	いすゞ	A2	H15.3.12	GMいちほら工業(株)
第8分団	消防ポンプ自動車	CD-I	いすゞ	A2	H29.3.9	日本機械工業(株)
第9分団	消防ポンプ自動車	BD-I	トヨタ	A2	H12.3.21	日本ドライケミカル(株)
第10分団	小型動力ポンプ積載車		ニッサン		H23.11.14	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H23.11.14	大成産業(株)
第11分団	小型動力ポンプ全自動積載車		ニッサン		H22.12.20	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H22.12.20	大成産業(株)
第12分団	小型動力ポンプ全自動積載車		ニッサン		H25.11.27	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H25.11.27	大成産業(株)
第13分団	水槽付消防ポンプ自動車	I-A	いすゞ	A2	H6.2.15	日本機械工業(株)
第14分団	消防ポンプ自動車	CD-I	いすゞ	A2	H24.12.18	日本機械工業(株)
第15分団	小型動力ポンプ全自動水槽付積載車		日野		H26.11.28	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H26.11.28	大成産業(株)
第16分団	水槽付消防ポンプ自動車	I-A	いすゞ	A2	H7.12.13	日本機械工業(株)
第17分団	小型動力ポンプ全自動水槽付積載車		ニッサン		H28.3.24	大成産業(株)
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H28.3.24	大成産業(株)
第18分団	小型動力ポンプ積載車		ニッサン		H13.3.21	(株)清水商会
	小型動力ポンプ		トーハツ	B2	H16.11.11	大成産業(株)
第19分団	消防ポンプ自動車	BD-I	トヨタ	A2	H10.10.1	日本機械工業(株)

■消防団員在職年数

(令和4年4月1日現在)

年数	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30年以上	計
人数	39	48	63	75	47	52	41	365

■新任状況

(令和4年4月1日現在)

年齢	21歳未満	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～	計
人数	1	3	2	1				7

■退職状況

(令和4年4月1日現在)

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年以上	30年以上	計
人数	1			1	3		3	8

■職種別状況

(令和4年4月1日現在)

職業	国家公務員	地方公務員	特殊法人等 公務員に準ずる職員	日本郵政グループ	その他	計
人数	2	40	14		309	365

■報酬

(令和4年4月1日現在)

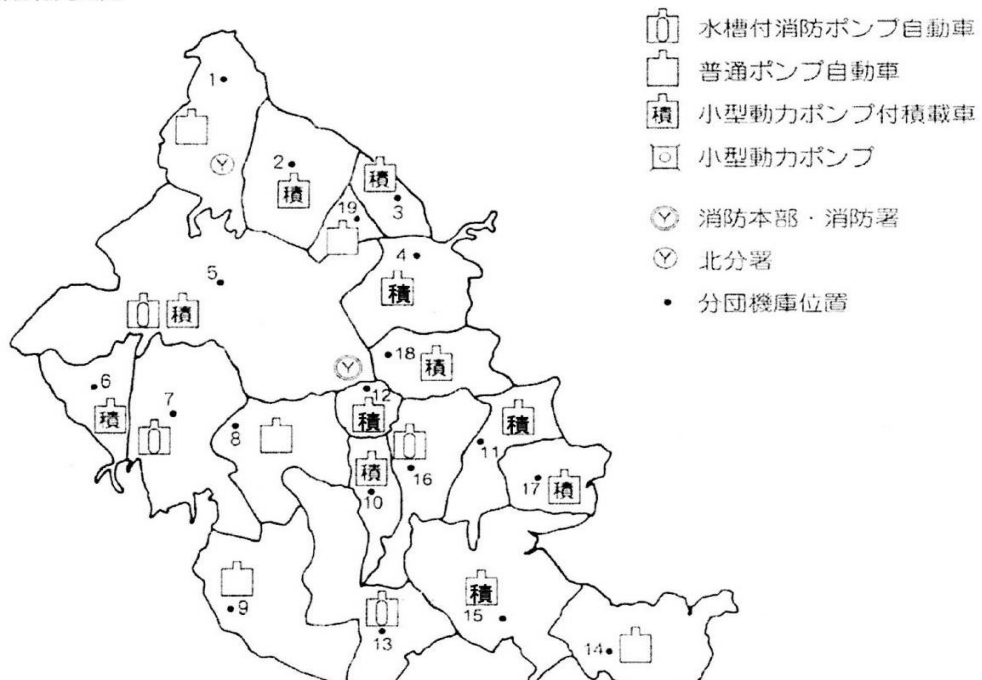
○年額報酬

階級	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬(年額)	143,000円	92,000円	76,000円	60,000円	47,500円	37,500円	37,000円	36,500円

○出勤報酬

項目	活動時間	報酬額
火災・風水害に係る出勤	4時間以上	8,000円
	4時間未満	4,000円
警戒・訓練等その他の出勤	—	1,000円

■消防団車両等配備状況





「消防とみちゃん」



「救急とみちゃん」



「レスキューとみちゃん」

令和3年度版 消防年報

発行・編集 富里市消防本部消防総務課
所在地 千葉県富里市七栄735番地2
連絡先 TEL 0476(92)1315
FAX 0476(93)8837

令和4年7月発行